

福岡市科学館

年 報

—2024年度(令和六年度)版—



福岡市科学館
FUKUOKA CITY SCIENCE MUSEUM

目次

はじめに	2	(3) ドームシアター(プラネタリウム)事業	24
1. 館概要	3	① 投映番組	24
(1) 設置目的	3	② スペシャルイベント	25
(2) 沿革	3	(4) 学習支援事業	27
(3) 事業コンセプト	4	① 演示	27
(4) 運営基本方針	4	② 体験学習	29
(5) 福岡市科学館の約束	5	③ 学校連携	43
(6) ロゴマーク	5	④ アウトリーチ活動	47
(7) 施設概要	6	⑤ サイエンスナビ活動	49
① 平面図	6	(5) 交流事業	50
② 諸室面積	7	① 地域交流	50
③ 建物の概要	7	② リピー特利用に向けた取り組み	50
④ 工事関係者	7	③ 広報・情報発信の状況	51
(8) 管理運営	8	(6) 育ち支援、ネットワーク形成事業	53
① 組織体制	8	① 科学館運営へのこどもの参画	53
② 各種会議体	9	② 運営サポーター活動	54
2. 2024年度事業報告	11	③ サイエンスキャスト活動	56
(1) 利用状況	11	④ 連携事業	57
① 月別利用状況	11	(7) 調査研究事業	59
② 団体利用状況	11	① 九州大学との共同研究	59
③ チケット発券ベースでの利用者層の割合	11	② 未来研究室	61
④ 利用者の年齢層・居住地・来館回数・満足度	12	③ SDGs家族会議	61
⑤ 事業別アンケート実施状況	13	(8) 施設貸出事業	63
(2) 展示事業(基本展示、企画展示)	15	(9) スーパーサイエンスジュニア事業	64
① 各室の展示	15	(10) その他の実績	66
② 企画展示	19	① 活動の実績	66
		② 職員の実績	66

はじめに

「福岡市科学館年報2024年度版」をお届けします。福岡市科学館では開館以来、基本展示室での展示・特別展、ドームシアター事業、サイエンスナビ活動などを通じて、科学の楽しさを来館者に伝えるとともに、学校連携やアウトリーチ活動を通じて、来館者以外の子どもたちや市民に主体的な学びの場を提供してきました。年間の来館利用者数は87万人を超え、多くの方々にご来館いただきました。4月に実施した展示更新「生きものを守った森のひっこし」では、通常対立してしまうことが多い開発と自然環境や生物の保全を両立させ、約700種類の植物を守った成功例として、九州大学伊都キャンパスの事業を紹介しています。SDGsのテーマとも関わりの深い展示です。また、4月に実施した企画展「新種はっけん！展」では、私の専門である植物の魅力や新種特定の方法について紹介する展示を通して、普段何気なく見ている植物に興味を深めていただきました。来場者には、植物に対するイメージを一新されたかたもいたのではないのでしょうか。

2024年4月～2025年3月に、小学校高学年向けのニュートンコース(初級・中級)を実施しました。このコースは、科学者が世界の見えないものを見る方法を開発し、世界の謎をどのように解いてきたかをテーマにとりあげました。また、最先端の研究を実験や観察を通じて学ぶ「本講座」と、理解を表現して発表する「探Qゼミ」を行いました。この講座は様々な体験を通じて、学校教育で重視されている正確な理解(形式知)を補い、経験や感性(暗黙知)を育むことを目指しています。また、何よりも子どもたちが楽しく取り組めて、驚きを感じられる実験・観察・表現活動となるよう工夫しました。

9～12月には、SDGs家族会議を実施しました。SDGs家族会議は、家族がいっしょになって持続可能な社会の実現について何ができるのかを考え、アイデアを発表するワークショップです。2024年度は、ゲームを増やしたりオリジナルのカードゲームを2種類開発したりするなどし、小学校低学年にも楽しくSDGsを学べるよう改良しました。第一回では「17の課題カードゲーム」を使用し、17の目標同士の関連や、目標と生活とのつながりを学びました。第四回ではフェアトレードを体験するカードゲームを使用し、児童労働について学びました。12月に実施した発表会では、参加した各家族がすばらしいアイデアを発表しました。

2024年度はAIの技術が進歩し、生成AIを使用すれば誰もが動画を作成できるようになりました。AIに代表される科学の進歩によって、私たちの生活は大きく変わりつつあります。福岡市科学館では、科学の楽しさを伝えつつ、科学の成果を市民が活用し、社会を持続可能なものに変えていく目標にも、貢献していきたいと思えます。今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

2025年6月

福岡市科学館
館長 矢原 徹一

1. 館概要

(1) 設置目的

子どもたちを始め市民が科学を体験し、楽しむことを通じて、自由かつ自発的に学習することを支援するとともに、福岡の人及び資源と連携し、福岡の将来を担う人材を育成することにより、市民の文化教養の向上に寄与することを目的として設置されました。

(2) 沿革

2016年(平成28年)3月25日	福岡市科学館特定事業に関する事業契約の締結
2016年(平成28年)4月1日	設計業務及び開業準備業務のスタート 初代館長に伊藤久徳就任、プロジェクトアドバイザーに高安礼士就任
2016年(平成28年)6月20日	福岡市科学館ホームページ開設
2016年(平成28年)7月1日	科学技術振興機構「科学技術コミュニケーション推進事業ネットワーク形成型」受託
2016年(平成28年)8月1日	九州大学と組織対応型連携契約を締結
2016年(平成28年)10月1日	着工
2017年(平成29年)1月	福岡市科学館ロゴデザイン決定
2017年(平成29年)4月1日	エルガーホールにて、開館半年前記念イベント開催
2017年(平成29年)8月31日	竣工
2017年(平成29年)9月30日	開館記念式典挙行
2017年(平成29年)10月1日	福岡市科学館オープン 名誉館長に若田光一就任
2018年(平成30年)2月11日	利用者50万人達成
2018年(平成30年)2月15～16日	全国科学博物館協議会(全科協)総会及び研究発表大会等開催
2018年(平成30年)3月24～28日	世界天文コミュニケーション会議2018 in 福岡(CAP2018)開催
2018年(平成30年)6月10日	利用者100万人達成
2018年(平成30年)9月29日	利用者150万人達成
2018年(平成30年)10月	開館1周年記念事業実施
2019年(令和元年)5月26日	利用者200万人達成
2019年(令和元年)6月3～5日	日本プラネタリウム協議会 全国プラネタリウム大会2019・福岡開催
2019年(令和元年)10月	開館2周年記念事業実施
2019年(令和元年)10月14日	利用者250万人達成
2020年(令和2年)10月	2代目館長に矢原徹一就任 開館3周年記念事業実施
2020年(令和2年)11月15日	利用者300万人達成

2021年(令和3年)10月	開館4周年記念事業実施
2022年(令和4年)10月1日	開館5周年記念式典開催
2023年(令和5年)1月29日	利用者400万人達成
2023年(令和5年)10月	開館6周年記念事業実施
2024年(令和6年)3月31日	利用者500万人達成
2024年(令和6年)11月	開館7周年記念事業実施

(3) 事業コンセプト

「サイエンス&クリエイティブ FUKUOKA」

科学と感性の交流拠点として

福岡から未来を創造していく科学館

福岡市の持つポテンシャルを最大限にいかし、科学と感性を融合させた新しい活動展開を行うとともに、科学館を拠点とした福岡における新たな交流と人材育成を図り、福岡の人々とともに未来の福岡を共に創造していく「未来創造型のミュージアム」をめざします。

(4) 運営基本方針

人が育ち、未来をデザインしていく科学館

福岡市科学館は地域とともに人の成長を支えることを第一に考えます。

人は生まれたときから能動的な学習者であり、周りの人々を含む環境と相互作用しながら育ちます。

科学館は、その育つ環境を科学の面からつくるものであり、成長を支えるものと考えています。

ひとりの人が育つには、自らが好奇心を抱き、疑問を持ち、考えを進め、創造性を磨くことが必須です。

そしてそのような経験を経た人は豊かな社会性をも身につけられるはずです。

そのような子どもたちを中心とする人の成長を支援するという意味を込めて、「人が育つ」科学館を目指します。

福岡市科学館は「人が育つ」しくみを様々に工夫していきます。

そのためには、何よりも展示やプログラムが子どもたちを始めとしてすべての人に楽しいものでなくてはなりません。

常に「科学の見せ方・示し方」を工夫・更新し、心に響く驚きと喜びを生み出します。

そしてそれを疑問・探求・創造へとつなげていきます。また人と人の交流と協働を大切にします。

人は、人との交流によって新たな世界が広がり、人との協働によって未来を描くことができるからです。

同時に私たちは、「人が育つ」ことを社会的な広がりの中で捉えています。

すなわち、「人が育つ」社会・地域づくりをも担うということです。

そのためには、他の文化施設・研究機関等さまざまな機関と連携し、家庭・学校・地域の団体等と協働する必要があります。

そしてその延長として、子どもたちの可能性ある未来と「科学は文化」と認知される社会を展望しています。

これらのことを「未来をデザインする」という言葉で表現しています。

(5) 福岡市科学館の約束

福岡市科学館は次のことをお約束します。

ほぼすべての項目で人が主語になり、またそのために福岡市科学館は何をなすべきかを明記しています。

1. 科学を担う人やクリエイターなどと市民とが交流することによって、新しいサイエンスコミュニケーションのあり方を提案していきます。
2. 幼児から高齢者までに対応する展示とプログラムを充実することによって、すべての人が科学を楽しみ、創造するよろこびがある科学館をつくれます。
3. 子どもたちの好奇心・疑問・考える力・創造性が育つ機会を提供することによって、一人ひとりの科学する力が伸びることに寄り添います。
4. 多様な市民、科学者、教員、保護者などと科学の協働プログラムを開発することによって、子どもたちが社会のなかで成長できる環境づくりに貢献します。
5. 福岡の人、モノ、コトなど、様々な資源を活用することによって、市民が科学的な視野で地域とその未来をデザインし、発信する活動を支援します。
6. 利用者との対話・交流を進めることによって、施設や事業の改善に努め、日々進化する科学館を目指します。

(6) ロゴマーク

Original Viewpoint / 独自の着眼点

すべての発見のスタートラインは、疑問を持つこと。身のまわりのあらゆることに、独自の感性でレンズを向け、ミクロあるいはマクロの世界を見つめることで生まれる気づきの連続。それは、発見と新たな疑問、そして限りない可能性を与えてくれる。

レンズを通して見えるものは、すべてが科学の世界。何にレンズをかざしてどこに着眼するか、その独自性を尊重して、だれもが疑問を自ら解き明かし、発見する驚きと喜びを体験する場。福岡市科学館は、「サイエンス&クリエイティブ」で新たなステージへ。科学に不可欠な「着眼点」を表現したロゴマーク。フォーカスすることで、気づきや発見をもたらすレンズであり、空から眺めた福岡市科学館のシルエットでもある。ただし、着眼点次第で見え方は無限。あなたは何に見えるだろうか。

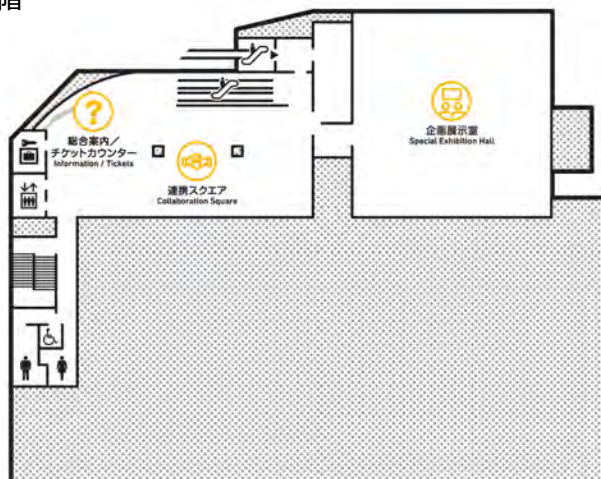


(7) 施設概要

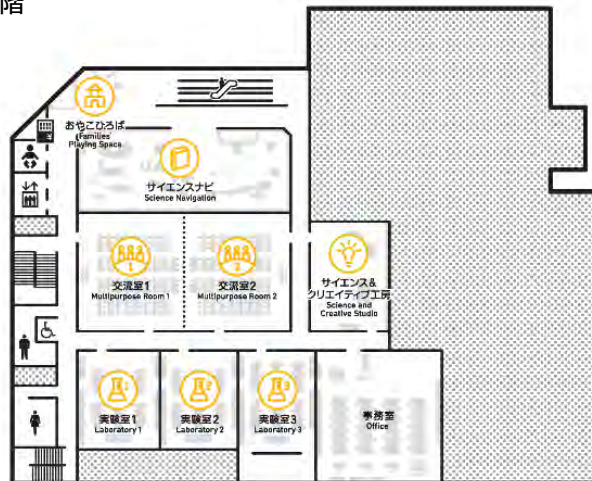
福岡市科学館は、複合商業施設「六本松421」内の3階～6階に設置。

① 平面図

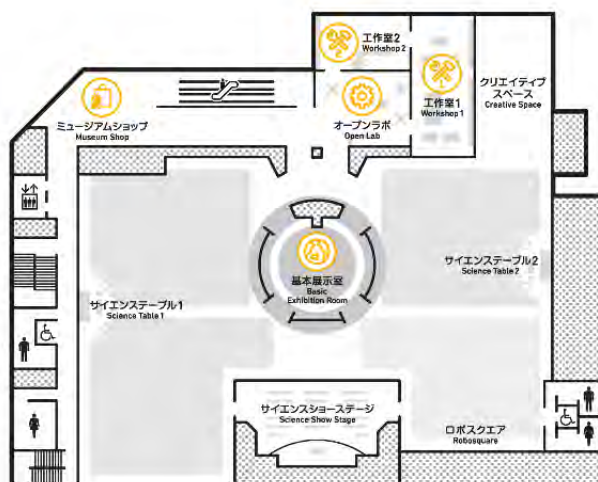
3階



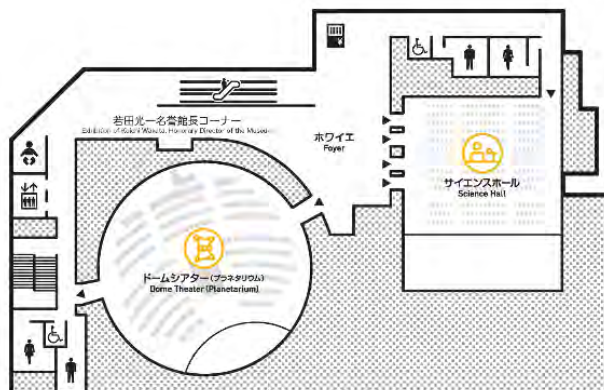
4階



5階



6階



②諸室面積

階	名称	面積(㎡)	席数
6F	サイエンスホール	426.51	300
	ドームシアター	463.53	220
	ホワイエ	442.87	—
5F	基本展示室	1,895.24	—
	工作室1	120.49	—
	工作室2	72.11	—
	オープンラボ	86.92	—
	ミュージアムショップ	62.50	—
4F	サイエンスナビ(※1)	237.32	—
	交流室1	163.11	100
	交流室2	165.08	100
	サイエンス&クリエイティブ工房	111.81	—
	実験室1	104.40	48
	実験室2	100.60	48
	実験室3	133.79	48
3F	ウェルカムホール	52.76	—
	エントランスホール	62.68	—
	連携スクエア(※2)	281.40	—
	企画展示室	510.12	—

※1 科学に関する興味や疑問等について、更に多彩な情報を探索できる無料エリア

※2 企業展示ブース

延床面積合計(バックヤード含む) 10,150㎡

③建物の概要

建物名称	六本松421
所在地	福岡県福岡市中央区六本松4-2-1
用途	複合型商業施設
敷地面積	約9,946㎡
総延床面積	約37,000㎡

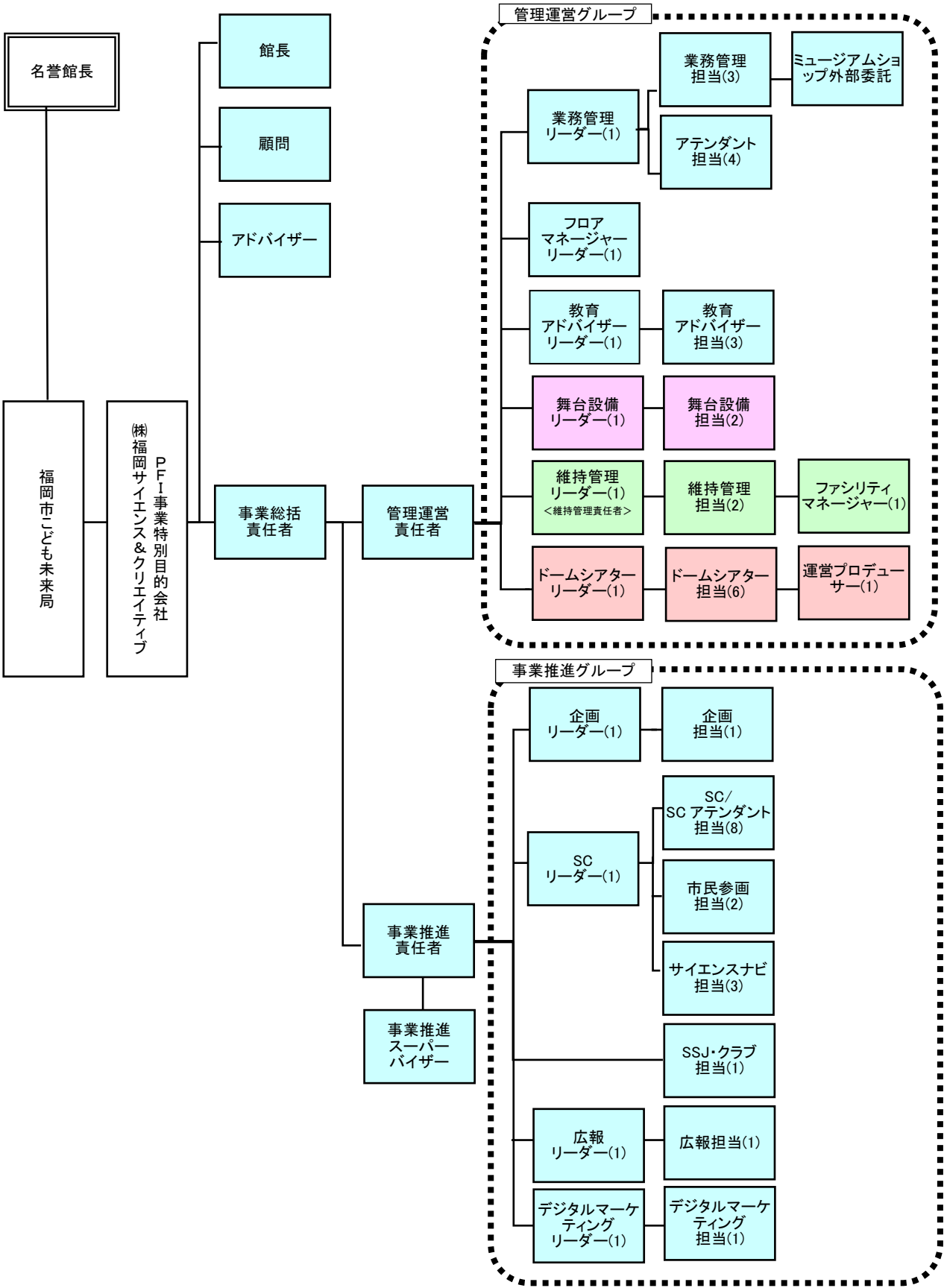
④工事関係者

設計	建設、設備	株式会社NTTファシリティーズ
	建設、設備	株式会社匠建築研究所設計共同事業体
	展示	株式会社トータルメディア開発研究所
	ドームシアター	コニカミノルタプラネタリウム株式会社
施工	内装、建築	日建建設株式会社
	電気設備	株式会社島田電気商会
	機械設備	山本設備工業株式会社
	什器、備品	宮川建設株式会社
	展示工事	株式会社トータルメディア開発研究所
	ドームシアター工事	コニカミノルタプラネタリウム株式会社

(8) 管理運営

①組織体制

(2025年3月時点)



②各種会議体

分類	会議名称	開催頻度	目的・内容等
福岡市	指定管理者 評価委員会	1回／年	福岡市が設置する第三者による事業評価委員会。事業者が行う自己評価結果を報告し、客観的な評価と総合して目標達成指標に対する定量的な評価と、事業プログラムの定性的な価値評価を提示し、評価結果を積極的に公開していくことで、事業者による運営状況の透明性の確保と利用者への説明責任の対応を図る。
事業者	運営連絡協議会	1回／月	科学館の運営・維持管理業務について、直近の実績と今後の計画について福岡市に報告・調整を行うほか、関連する情報の共有や協力体制の検討を行う。
	コア会議	1回／月	館を運営する事業者の幹部で構成され、館のミッションと事業内容との調整を図る。
	サイエンスコミュニケーション開発会議	2回／年	館長を含む有識者と館スタッフで構成され、今後の館運営の方向性の検討を行う。
	外部評価委員会	1回／年	事業者が設置する外部有識者による事業評価委員会。前年度の事業報告に対する評価・提言等を行う。

■サイエンスコミュニケーション開発会議分科会

15年間の運営ビジョンを基に以下のテーマを設定し、研究者やクリエイターほか様々な分野の有識者と館スタッフで組織された分科会メンバーにより、科学館の課題と運営の方向性等を検討した。2024年度は、以下の4つの分科会を開催した。

名称	テーマ	概要
第一分科会	多様な学習プログラム体系	来館者の年齢や様々なバックグラウンド、発達状況に対応できる分類(=5つの育ちの分類)を体系表にすべく、いくつかの図式化を行った。なかでも、育ちの分類を横軸にしたものが使用しやすいという結論に至った。また、館内アクティビティ24種を体系表に反映することで、事業全体の偏りや、企画者と実施者間でのアプローチやねらいのずれ、実施者と来館者間でのねらいと受け取り方の違いの確認を行うことができ、今後のプログラムを効率的に改善することができるのではないかという結論に至った。
第二分科会	大規模展示更新に向けた展示計画	2026年度に実施する大規模展示更新としてふさわしい「次世代の展示」の方向性について、前年度(2023年度)の分科会で検討された事項をもとに議論した。キーワードである『ひと』をどのように展示に結び付けるか中心に展示案を議論し、展示体験する人を『ひと』として、体験を自分事とするための仕組みづくりやストーリーの検討をした。
第三分科会	独自性のある情報発信のあり方	「人が育ち、未来をデザインしていく科学館」を理念としている福岡市科学館として科学情報に関する考え方をより明確にしつつ、異分野連携によるコンテンツ発信の強化、福岡市科学館らしい提供の仕組みや活動について意見交換を行い、次年度(2025年度)に向け実践可能なことを探り、まとめた。
第四分科会	次世代型地域科学館の機能	「次世代型地域科学館に必要な機能」を議論し、「教育普及活動」、「展示」、「情報交流」、「その他、先進的科学館事業」のグループに分類し提言としてまとめた。これらを実際の運営に落とし込む方法や「変動する社会に対応するテーマをスタッフが自発的に提案し、展示やアクティビティに昇華できる仕組み」、「イノベーションを起こすための方法」は次年度以降の課題とした。

2. 2024年度事業報告

臨時休館

2024年8月29日 台風のため開館時間短縮

2024年8月30日 台風のため臨時休館

(1) 利用状況

① 月別利用状況

項目	2024年度													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計	構成比
開館日数(日)	27	27	26	28	29	26	26	26	24	26	24	28	317	
利用者数	59,077	67,115	64,161	91,758	141,742	78,794	77,654	61,792	50,982	62,715	50,638	68,445	874,873	100%
1日平均	2,188	2,486	2,468	3,277	4,888	3,031	2,987	2,377	2,124	2,412	2,110	2,444	2,760	—
ドームシアター	9,665	11,705	13,509	16,943	24,163	17,067	14,243	14,733	10,770	12,431	10,966	13,971	170,166	19.5%
基本展示室	19,389	17,113	21,292	30,937	51,417	27,583	22,217	20,508	17,141	22,838	19,752	24,133	294,320	33.6%
企画展示室	11,092	13,084	10,564	4,801	9,097	708	10,669	10,433	8,486	9,813	0	6,349	95,096	10.9%
サイエンスナビ	12,479	12,399	13,729	17,430	25,143	15,378	13,759	11,601	10,361	1,288	12,763	14,047	160,377	18.3%
その他(※1)	6,452	12,814	5,067	21,647	31,922	18,058	16,766	4,517	4,224	16,345	7,157	9,945	154,914	17.7%

(単位:人)

※1 各種体験学習プログラムの実参加人数と貸室利用人数を集計

② 団体利用状況

項目	2024年度													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計	構成比
開館日数(日)	27	27	26	28	29	26	26	26	24	26	24	28	317	
団体来館数	3	27	48	37	17	53	51	67	38	48	49	24	462	100%
1日学習	0	10	14	7	0	22	17	17	14	19	15	6	141	30.5%
学校等団体	1	15	27	21	2	27	31	44	20	23	26	15	252	54.6%
一般団体	2	2	7	9	15	4	3	6	4	6	8	3	69	14.9%

(単位:団体)

③ チケット発券ベースでの利用者層の割合(基本展示室・ドームシアター一般番組・年間パスポートの合計)

大人 53.0%	高校生 2.4%	小中学生 44.5%
-------------	-------------	---------------

④利用者の年齢層・居住地・来館回数・満足度

福岡市科学館2024年度利用者アンケートや事業別アンケートからデータを抜粋。

■来館者年齢層（n=4,014）※1日学習アンケートは除外

設問「あなた自身についてお聞かせください:年齢」

幅広い年齢層に利用されているが、例年同様中高生(12歳～18歳)の利用者の比率が低い。



■居住地（n=4,251）※1日学習アンケートは除外

設問「あなた自身についてお聞かせください:お住まい」

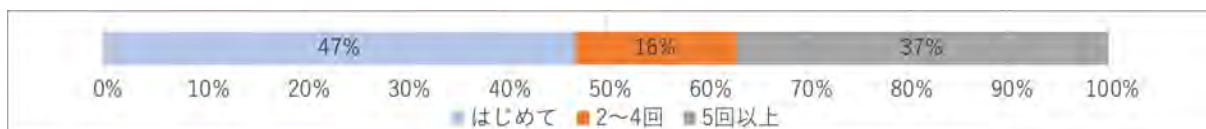
前年度に比べ県外からの来館者の割合が増加した。ドームシアターのイベントにヒット作品があり、その影響と考える。



■来館回数（n=3,070）※1日学習アンケートには項目なし

設問「当館に来られたのは何回目ですか」

はじめての来館者が最も多いが、5回以上も1/3を超える。全体の半数以上をリピーターが占めた。



■満足度（n=4,149）※1日学習アンケート除く

設問「満足度はいかがでしたか？」

利用者の満足度は高く「大変満足」「満足」の合計が97%。昨年度同様、概ね満足していただいていると考えられる。



■満足度（n=7,962）※1日学習アンケート分

「大変満足」「満足」の合計が99%。1日学習に参加した小学生の満足度は非常に高い。



⑤事業別アンケート実施状況

大分類	小分類	活動名	実施時期	回収数
ドーム シアター事 業	スペシャル イベント	SNJ118星語り 星生まれる山『星生山(ほっしょうざん)』	4月21日	31
		SNJ119プラネタリウムでひとやすみ。～星と音楽に包まれるひととき～	5月11日	67
		SNJ120星兄の爆笑プラネタリウムショー	6月30日	32
		SNJ121「雲との上手な付き合い方」すぎる天気の本鑑シリーズ著者 荒木健太郎によるトークショー	7月13日	31
		SNJ122夏休み特別企画 プラネタリウムでスペースアドベンチャー!!!! Produced by COSMIC DANCE	8月3日	8
		SNJ123星兄の爆笑プラネタリウムショー	8月25日	22
		『加藤和樹 LIVE in the DARK tour -星空リサイタル vol.2-』福岡公演	8月31日	46
		「プラネタリウム100周年」×「すばる望遠鏡25周年」記念 全国一斉オンライン講演会	10月19日	5
		『中田裕二 LIVE in the DARK tour 2024』福岡公演	10月26日	37
		『KEIKO LIVE in the DARK -Sagittarius-K021』福岡公演	10月26日	42
		星兄の爆笑プラネタリウムショー	11月3日	14
		大人のための熟睡プラネタリウム ～やすらぎの音楽とともに～	11月23日	62
		中垣哲也オーロラ映像投映&トークライブ (ファミリー向け講演)	11月29日	5
		中垣哲也オーロラ映像投映&トークライブ (一般向け講演)	11月29日	51
		『菊池桃子 LIVE in the DARK tour 2024 -Precious Starlight-』福岡公演	12月7日	68
		プラネタリウム特別上映会『QUEEN -HEAVEN-』	12月24日～1月6日	52
		星降る南阿蘇2025 ～天文台LIVE中継～	1月26日	14
		『伊澤一葉 LIVE in the DARK tour 2025』福岡公演	2月1日	51
		震災特別番組『星よりも、遠くへ』上映会	3月10日	22
		大人のための「もっと」熟睡プラネタリウム ～春眠～	3月20日	21
		『堂珍嘉邦 LIVE in the DARK tour 2024 -AMANOGAWA-』福岡公演	3月22日	75
		星兄の爆笑プラネタリウムショー	3月29日	14
	番組	各番組	通年	873
	その他	リクエスト投影アンケート	6月1日～6月23日	1,068
教育普及 事業	サイエンス カフェ	サイエンスカフェ「迷子のセマルハコガメ」	4月14日	22
		「いたるところに科学～スタッフと語らうカフェSC林編」	6月29日	11
		サイエンスカフェ「有吾式天気の本鑑の楽しみ方」	7月20日	17
		福岡市科学館「ダイヤモンドが秘める科学」	8月3日	28
		いたるところに科学『スタッフと語らうカフェ』	9月7日	22
		交通トーク 私たちは渋滞がキライなんです！	9月16日	23

		道草さんぽ～発見！実験！植物のヒミツ	11月16日	23
		わさびのきた道	12月14日	20
		星ってどうやって生まれるの？～スーパーコンピュータで解き明かす星の卵	2月11日	17
		肌トラブル解決法	3月18日	23
	フィールドワーク	大濠公園で野鳥を観察しよう	4月6日	6
		身近な岩石・鉱物を見てみよう	5月11日	9
		サイエンススポットまち歩き ～シーサイドもち編～	5月18日	15
		ゴッホの描いた植物をさがそう	5月25日	10
		のぞいてみよう 顕微鏡の世界	6月23日	12
		サイエンススポットまち歩きワンアップ～動物情報館編～	6月8日、6月22日、7月6日	17
		空飛ぶけもの コウモリを観察しよう	7月26日	7
		空飛ぶけもの コウモリを観察しよう	8月6日	4
		はじめてのフィールドワーク「親子でしぜんはっけん隊」	8月8日	4
		空飛ぶけもの コウモリを観察しよう	8月20日	1
		みんながつながる川と海	9月23日	6
		街ではっけん！化石ビンゴ	10月6日	5
		サイエンススポットまち歩き～特別編～	11月23日、24日	18
		のぞいてみよう 顕微鏡の世界(午前)	2月11日	9
		のぞいてみよう 顕微鏡の世界(午後)	2月11日	8
		大濠公園で野鳥を観察しよう	2月14日	6
		お外で遊ぼう！やってみよう！	3月14日	3
	キッズクルー	キッズクルーアンケート	3月16日	6
	サイエンスショー	Dr.ナダレンジャーの自然災害科学実験教室(スペシャルサイエンスショー)	8月11日	50
	セミナー・講座	【開館7周年記念】細矢 剛 博士×矢原 徹一 館長対談「毒をもつ生物の戦略」	10月12日	102
		丸山 宗利博士講演会「昆虫採集と危険な生き物」	11月2日	101
		天体観測で解き明かす太陽系のひみつ	3月2日	20
		生命のみなもとは宇宙にあり!?	3月8日	28
その他	1日学習	一日学習利用者アンケート(引率者回答)	通年	141
		一日学習利用者アンケート(児童回答)	通年	7,962
	一般団体	団体利用者アンケート	通年	74
特別展・企画展		【特別展】動くゴッホ展	3月15日～6月16日	288
		【企画展】新種はっけん展	4月26日～5月26日	42
		【特別展】「すごすぎる天気」の凶鑑展	7月13日～8月26日	109
		【特別展】毒	10月11日～1月13日	1,434
		【企画展】リュウグウイトカワサンプル展示	3月1日～3月9日	34
館全体		利用者アンケート	通年	348
合計				13,796

(2) 展示事業(基本展示、企画展示)

①各室の展示

(a) 展示テーマ

5階基本展示室において、「宇宙」「環境」「生活」「生命」と、未来について考える「フューチャー」からなる参加体験型の展示を通じて、来館者が科学とその見方を楽しく学ぶことができる。

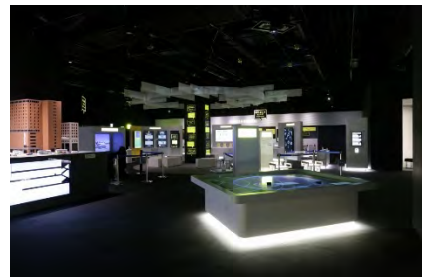
展示テーマ	展示内容
宇宙	宇宙の広がりや様々な方面からアプローチした地球の姿などを体験しながら学ぶ。
環境	地球の環境や生態系、エネルギーの使われ方などを知り、環境の大切さを学ぶ。
生活	交通システムや地震対策、新しいテクノロジーなど、暮らしを支える技術を学ぶ。
生命	体のしくみ、生物の進化などの生命の不思議や最新の医療技術について学ぶ。
フューチャー	サイエンスとクリエイティブの両方の視点から科学技術の今を学ぶ。また、科学の力で新しい星をつくりだすなど、自分たちの未来を考える。



宇宙



環境



生活



生命



フューチャー

(b) 展示更新

■大規模展示更新

2026年度の大規模展示更新に向け、SC開発会議で展示計画の方針を協議した。分科会での提言をもとに、ワーキンググループが「大規模展示更新計画書(案)」を作成した。計画書案では、基本展示室の位置づけを「科学に興味をもつきっかけづくり」「多様なアクティビティへつなげる」とし、科学館が目指すテーマとして「人間を中心に据える」「利用者が自分自身を知る」を定めた。

この方針の実現のため

1. 展示同士のつながり(関連性)を強化し、来館者が横断的に展示を巡れる
2. 展示には体験的なアプローチを導入し、好奇心を刺激するものとする
3. 来館者の興味に応じて、様々な入口・体験方法を用意する

この3項目を視点とし、展開アイデアを検討した。

この計画検討作業を継続し、2025年10月に「大規模展示更新計画」としてとりまとめる予定である。

■中規模展示更新

「生きものを守った森のひっこし」

開発と自然環境や生物の保全は対立してしまうことが多い。持続可能な社会の実現にはこの関係に対立させないことが必要である。対立させずに開発を行い、約700種類の植物を守った成功例として、九州大学伊都キャンパスの事業を紹介する展示を開発した。解説ビデオでは、植物の保全事業を推進した、矢原館長が登場して解説を行う。



■クリエイティブスペースの更新

研究者、クリエイター、サイエンスコミュニケーターの共同作業により、以下の展示開発を行った。

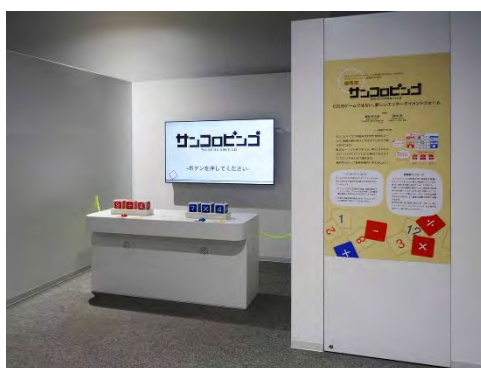
(1)「サンコロビンゴ」(4月26日設置)

2023ADAA(アジアデジタルアート大賞展)でエンターテインメント(産業応用)部門の入賞作品。

神奈川工科大学の溝渕彩久良氏の作品を、神奈川工科大学鈴木浩准教授をアドバイザーに開発を行った。

(2)「AIサイエンスコミュニケーター」

メタバースを活用した教育プログラム「イチジクとイチジクコバチの共生関係の世界」を視聴しながら、疑問に思ったことをAIに質問できる展示を開発した。AIの学習データは、イチジクとイチジクコバチの共生関係の研究者である蘇智慧氏(JT生命誌研究館 研究員)に監修していただいた。



サンコロビンゴ



AIサイエンスコミュニケーター

■クリエイティブスペースの展示アイデア募集とワークショップ実施

2025年度の更新のため、「宇宙はEMOI(エモイ)」をテーマにクリエイティブアワードを実施し、体験型の展示アイデアを募集した。9月に審査を実施し、3作品を入選作に選んだ。入選作の提案者とクリエイター、館スタッフによりワークショップを実施し、展示に向けた検討を行った。2025年4月・10月、2026年4月の三期に分けて展示制作を行う予定である。入選した作品は、以下の3作品。

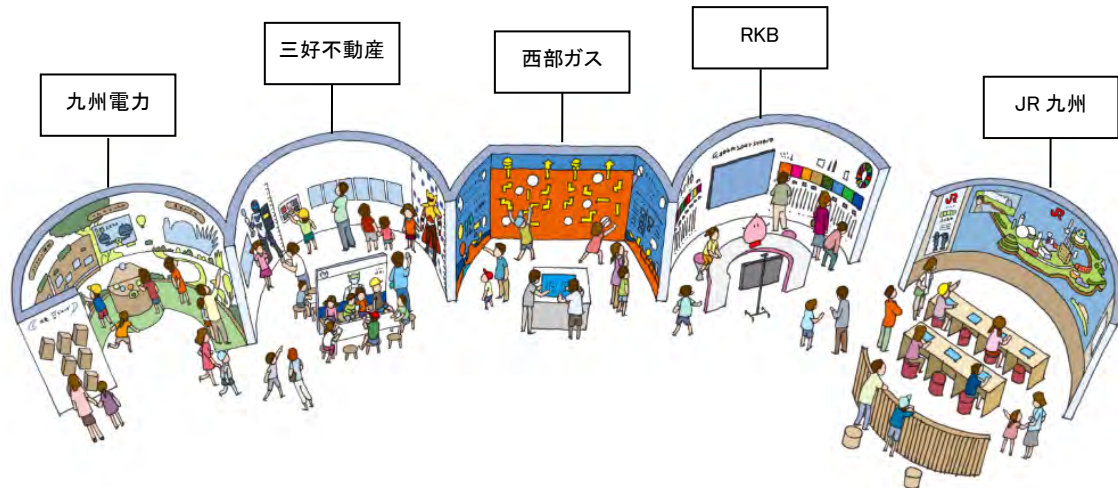
(1)【最優秀賞】 『重力変えてジャンプジャンプジャンプ!』 福井文哉 氏

(2)【優秀賞】 『君だけのクレーターをつくろう!』 網谷彩乃氏、伊寄幸歩氏、船田里桜氏

(3)【入賞】 『プラネット・ラブ・オペレーション』 西村陽菜氏

(c) 連携スクエア(SDGs)

持続可能な開発目標(SDGs)をテーマに、地元企業および福岡の大学・研究機関と連携する企業を紹介している。体験型展示で企業が持つ技術の特性や機能、SDGsの取り組みをわかりやすく伝える。現在の展示は2023年10月に「SDGs+ゆたかな福岡」をテーマにリニューアルしたもので、持続可能な未来のために、私たちに何ができるのか体験を通して考えることができる。



■九州電力

電気がどこでどのようにつくられてどのように暮らしに届けられるのか、また、その電気が街や暮らしを明るくすることを体感できるブース。また、低炭素で持続可能な社会づくりへ向けた取り組みを学ぶことができる。

■三好不動産

企業におけるレジリエンス視点の住宅技術の普及や、防災、地域の復旧・復興支援、清掃活動、薬育などの持続可能な住環境について映像や体験展示で学ぶことができる。地元のヒーロー「ドゲンジャーズ」はSDGs貢献活動の協力者として連携している。

■西部ガスホールディングス

ガスがつくられ私たちのところに安全に届くまでを、身体を動かすゲームを通じて学ぶことができるブースである。タッチパネルでは、SDGsに向けた西部ガスの取り組みについて、絵合わせゲームで体感することができる。

■RKB毎日放送

「SDGsスタジオ」として、実際にテレビ番組などの収録がおこなわれるブース。壁面の映像では、SDGsの17の各目標について、それぞれどのような取り組みがなされているのかを学ぶことができる。

■九州旅客鉄道

ミライトレインを選定し、ミッションをクリアしながら持続可能なミライマチを考えるコンテンツ。ミッションは電車の中でこまっている人を助ける「やさしいマチ」、野菜を育てるお手伝いをする「あんしんなマチ」、環境にやさしい列車の運転を体験する「げんきなマチ」がある。

②企画展示

(a) 特別展

■特別展「動くゴッホ展 親愛なる友 フィンセント」

開催趣旨	ゴッホの作品とその生涯を弟テオへ宛てた手紙から読み解き、絵画を動かしたデジタル作品として、様々な体感型の空間演出手法と共に紹介する。絵画や芸術に興味を持ってもらう第一歩として現代の子どもたちに作品を見てもらうだけでなく、その絵を描いたときに作者がどこでどのような生活をしていたかなども紹介し、絵を描くこと自体に関心を持ってもらうことをめざす。オランダ出身のフィンセント・ファン・ゴッホは27歳の時に絵画を志すが、37歳という若さでその生涯を閉じた。その間に残した作品は約2000点。後に近代美術の父と呼ばれ、孤独と狂気の画家として知られる。
開催期間	2024年3月15日～2024年6月16日 ※会期中休館日(火曜日 ただし4月30日は開館)
入場者数	41,716人(うち2024年度入場者数は34,530人)
会場	3階 企画展示室
主催	福岡市科学館、RKB毎日放送、キョードー西日本
特別監修	MDK Digital Pictures
監修	井坂 健一郎(山梨大学大学院教授／専門分野:絵画)
協力	フォネット
企画制作	ネオスペース/ワンダースクワッド
特別協力	楽天チケット
入場料	[一般]1500(1400)円 [高・大生]1000(900)円 [小・中学生]600(500)円 [未就学児(4歳以上)]300(200)円 [楽天チケット3枚セット券]3900円 ※3歳以下は無料 ※()は前売・団体(有料入場者30名以上)料金 ※前売券は3月14日(木)までの販売。 ※次の方は、無料で入場可。 身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳の提示者本人と介護者1人(コピー可、ミライロID可)。特定医療費(指定難病)受給者証・特定疾患医療受給者証・先天性血液凝固因子障害等医療受給者証・小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者本人(コピー可)。
展示内容	ゴッホの絵画を動くデジタルアートとして展示。ひまわりが風に揺れたり、人物がまばたきをしたりする映像を放映する。
関連イベント	4月1日～4月7日、4月27日～5月6日 ものづくりプログラム「ゴッホの毛糸でポンポンをつくろう」 5月25日 フィールドワーク「ゴッホが描いた植物をさがそう」 3月6日～6月3日 ドームシアター関連番組「ゴッホが描いた星空」 3月13日～6月17日 ドームシアターゴッホ名画パネル展「ゴッホが描いた星空」

■特別展「すごすぎる天気の出鑑展 虹のはなし」

開催趣旨	「すごすぎる天気の出鑑展」「もっとすごすぎる天気の出鑑展」の著者である荒木健太郎氏が天気や気象にまつわるとっておきのネタやおもしろくてためになる知識、日々さまざまな表情を見せる「雲」をメインテーマに解説する特別展。雲や虹、空など身近なものへ興味を持つきっかけとして、観察の重要性や研究の基礎を培う。本型のパネルだけでなく簡易実験や自由研究メモなどを活用してより理解を深める。また地域に根差した災害や防災についても学び、防災意識を高めるとともに家庭や友人などと身近な防災について話し合いの場を作る。
開催期間	2024年7月13日～2024年8月26日

	※期間中は7月16日のみ休館
入場者数	13,853人
会場	3階 企画展示室
主催	福岡市科学館、読売新聞社、RKB毎日放送、キョードー西日本
監修	荒木健太郎
企画制作	KADOKAWA
入場料	<p>[一般] 1300(1200)円 [高大生] 800(700)円 [小中学生] 500(400)円 [未就学児(4歳以上)] 200(100)円 ※()内は前売・団体(有料入場者30名以上)料金 ※前売券は5月25日(土)～7月12日(金)まで販売。 ※次の方は、無料で入場可。 身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳の提示者本人と介護者1人(コピー可、ミライロID可)。特定医療費(指定難病)受給者証・特定疾患医療受給者証・先天性血液凝固因子障害等医療受給者証・小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者本人(コピー可)。</p>
展示内容	書籍「すごすぎる天気の本」シリーズより夏休み自由研究の手助けになるようなオススメネタをピックアップして写真や図解、イラストをふんだんに使って紹介した。また自由研究の一助として、館オリジナル「自由研究メモ帳」を作成し配布した。
関連イベント	<p>応募:6月1日(土)～6月30日(日)/表彰式:7月14日(日) みんなの空の写真コンテスト、荒木健太郎氏サイン会 7月13日 荒木健太郎氏トークショー「雲との上手な付き合い方」 7月20日 島田有吾氏サイエンスカフェ「有吾式 天気の本の楽しみ方」 7月22日、23日、24日 キラキラ虹の分光筒づくり 7月28日 お天気実験教室～天気の不思議を体験しよう!～ 8月11日 Dr.ナダレンジャーの 自然災害科学実験教室 8月19日 虹づくりに挑戦! 6月1日～ 新作テーブルサイエンス「台風って なに?」 7月6日～ サイエンスショー「ふしぎったい! 天気のヒミツたんけん隊」 8月1日～ 新作テーブルサイエンス「知ろう! 学ぼう! 天気予報」 8月17日、8月20日 キラキラ虹の分光筒づくり 8月18日、8月20日 ペットボトルで雲をつくろう 8月19日、8月22日 空クイズに挑戦! 8月19日 空の音を感じよう</p>

■特別展「毒」

開催趣旨	動物、植物、菌類、そして鉱物や人工毒など、自然界のあらゆるところに存在する毒について、動物学、植物学、地学、人類学、理工学の各研究分野のスペシャリストが徹底的に掘り下げ、国立科学博物館ならではの視点で解説する。人間が作り出した概念であり脅威と有用性を共に持つ「毒」について紹介することで、毒とそれにかかわる生きものとの関係を伝え、自然界の神秘と驚きに満ちた一面を知ることが、現代社会を生きるうえで大きな助けになるというメッセージを伝える。
開催期間	2024年10月11日～2025年1月13日 ※期間中火曜日、年末年始(12/28-1/1)は休館。ただし12/24は開館。
入場者数	39,336人
会場	3階 企画展示室
主催	福岡市科学館、読売新聞社、TNCテレビ西日本
協賛	ゼンリン
特別協力	国立科学博物館
制作協力	フジテレビジョン
入場料	[一般]1600(1500)円

	<p>[高大生]1100(1000)円 [小中学生]800(700)円 [未就学児] 無料 ※5階基本展示室入場券とのセット 一般 2,060円 ※通常2,310円(特別展「毒」1,800円 + 基本展示室510円) 高校生 1,280円 ※通常1,510円(特別展「毒」1,200円 + 基本展示室310円) 小・中学生 680円 ※通常800円(特別展「毒」 600円 + 基本展示室200円) ※()内は前売・団体(有料入場者30名以上)料金 ※前売券は8月8日(木)～10月10日(木)まで販売。 ※次の方は、無料で入場可。 身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳の提示者本人と介護者1人 (コピー可、ミライロID可)。特定医療費(指定難病)受給者証・特定疾患医療受給者 証・先天性血液凝固因子障害等医療受給者証・小児慢性特定疾病医療受給者証 の提示者本人(コピー可)。</p>
展示内容	<p>動物、植物、菌類、そして鉱物や人工毒など、自然界のあらゆるところに存在する毒 について、動物学、植物学、地学、人類学、理工学の各研究分野のスペシャリストが 徹底的に掘り下げ、多角的な視点で解説した展覧会。</p>
関連イベント	<p>10月12日 講演会「毒をもつ生物の戦略」 11月2日 講演会「昆虫採取と危険な生き物」 11月4日 大学連携WS「薬草風呂の素をつくろう」 12月14日 サイエンスカフェ「わさびのきた道」</p>

(b) 企画展

■企画展 新種はっけん！展 うちの矢原館長 新種120種以上発見しました！

開催趣旨	植物研究の魅力を伝える。植物の魅力や新種特定の方法について紹介することで、普段何気なく見ている植物の「！（びっくり）」「？（なぜ）」を紹介する企画。来場者はおもしろい植物について知り、植物に対するイメージを一新することができる。
開催期間	2024年4月26日～2024年5月26日 ※火曜日休館
入場者数	12,348人
会場	5階 オープンラボ
主催	福岡市科学館
入場料	無料
展示内容	福岡市科学館の館長がどのようにして新種発見に至ったのかを館長独自の視点で紹介。パネルや標本の展示だけでなく「館長へ質問」コーナーや新種植物ぬりえ、新種はっけんビンゴなども実施。
関連イベント	期間中の土日 新種はっけんビンゴ 4月27日 フィールドワーク「矢原館長と舞鶴公園へ新種をさがしに行こう」 5月18日 サイエンスカフェ「館長新種発見伝」

■企画展 ふしぎなパズル展

開催趣旨	マグネットシートでスチールの壁にくっつくパズルを4種類展示。頭を使う「しきつめ」に挑戦したりオリジナル作品を作ったりすることで、自由な発想力を養う巡回展。
開催期間	2024年7月6日～7月31日
入場者数	14,843人
会場	5階 オープンラボ
主催	福岡市科学館
企画・制作	横浜こども科学館
協力	日本テセレーションデザイン協会
入場料	無料
展示内容	T3パズル、恐竜パズル、凸五角形パズル、タングラムの4種類のパズルを展示した。マグネットで自由に動かしながら楽しむことができる。
関連イベント	期間中毎日開催 つくるを楽しむワークショップ 期間中複数回開催 廃材でつくる空想ワークショップ 8月14日 100人でつくるを楽しむワークショップ

■企画展 土からわかる 防災のおはなし

開催趣旨	土は岩や砂、火山灰から長い年月をかけて、生き物や水の関わりにより作られ、私たちの身近な環境を作り出し、恵みを与える。しかし時には地震や大雨をきっかけに土砂災害などが発生し、人が住む場所を襲うこともある。地球を形づくる土のことを科学的にミクロの目からも知り、土に親しみ、災害に備える知識を身につける。 ※本展は名古屋市港防災センター、全国科学館連携協議会のご協力により実施。
開催期間	2024年8月3日～8月26日 ※8月17日 16時～8月18日(日) 17時の間は別イベント実施のため休止 ※火曜日休館
入場者数	23,263人
会場	5階 オープンラボ
主催	福岡市科学館
制作	名古屋市港防災センター
監修	岐阜大学応用生物科学部、大西健夫准教授、名古屋大学生命能楽研究科 田中隆文准教授
特別協力	(株)日立ハイテク、国土防災技術(株)

協力	福音館書店、NPO法人土砂災害防止広報センター、国土交通省多治見砂防国道事務所、お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター、愛知県砂防課、名古屋市防災機器管理局
入場料	無料
展示内容	「土」「水」「生き物」「ミクロ」「災害」の視点を組み合わせ、自然現象との付き合い方を学ぶ展示。地震や豪雨による水害・土砂災害への理解を深めるとともに、土の成り立ちや性質、生き物との関わりを、イラストや実物展示、ミクロの視点で紹介。
関連イベント	なし

■企画展 はっけん！海のいきもの化石展

開催趣旨	福岡市科学館で所蔵している多様な海のいきものの化石を触ったりじっくり観察したりすることで、太古の海を想像し、地球自然史や科学への興味関心を高める。福岡で見つかる化石も紹介し、地域の魅力を再発見することもめざす。
開催期間	2024年9月20日～2024年10月14日 ※火曜日休館
入場者数	16,069人
会場	5階 オープンラボ
主催	福岡市科学館
協力	九州大学総合研究博物館
入場料	無料
展示内容	福岡市科学館が所蔵する海のいきものの化石を展示した。細かいところまでじっくり観察したりさわったりしながら、化石たちが生きていたころの姿を想像する。
関連イベント	期間中の土曜日 太古の姿を想像しよう 10月6日 フィールドワーク「街ではっけん！化石ビンゴ」

■企画展 小惑星『イトカワ』『リュウグウ』サンプル展示 in 福岡市科学館

開催趣旨	JAXAからリュウグウ・イトカワのリターンサンプルを借用して展示する巡回展。実物のリターンサンプルを通して地球外物質研究や宇宙への興味・関心を深めることをめざす。
開催期間	2025年3月1日～3月9日 ※火曜日休館
入場者数	3,979人
会場	3階 企画展示室
主催	プラネタリウム100周年記念事業実行委員会、JAXA宇宙科学研究所 地球外物質研究グループ(ASRG)、福岡市科学館
共催	東京大学 大学院理学系研究科 宇宙惑星科学機構、名古屋市科学館
協力	九州大学大学院 理学研究院 地球惑星科学部門
入場料	無料
展示内容	日本の小惑星探査機「はやぶさ」と「はやぶさ2」が採取した、小惑星「イトカワ」と「リュウグウ」2つのサンプル(実物試料)を展示した。「イトカワ」と「リュウグウ」2つのサンプル同時公開は九州初。2つの探査機や最新研究結果を織り交ぜながら、「イトカワ」と「リュウグウ」の違いを感じることができる
関連イベント	3月2日 講演会「天体観測で解き明かす太陽系のひみつ」 3月8日 講演会「生命のみなもとは宇宙にあり!？」

(3) ドームシアター(プラネタリウム)事業

① 放映番組

最新鋭のプラネタリウムシステムを駆使し、宇宙の最新情報を積極的に紹介し、クイズなどの観覧者とのインタラクティブな展開を取り入れるなど、新しいスタイルの生解説放映を実施。

(a) 一般放映

種別		番組名	放映期間(2024年度)	回数	利用者数
オリジナル制作番組		スペースフロンティア ～宇宙飛行士 この一步の為に～	4月1日～12月1日 (主に土日祝日)	72	1,921
		宙語り2024春 ジェームズウェッブ宇宙望遠鏡	4月1日～6月3日	106	4,959
		宙語り2024夏 めざせ！星空マスター ～夏の星座編～	6月5日～9月9日	166	16,579
		宙語り2024秋 シン・月世界	9月11日～12月2日	132	10,152
		宙語り2024冬 宙くんと行く！わくわく惑星ツアー ～太陽系のなかまたち～	12月4日～3月3日	141	8,423
		宙に架ける	12月8日～3月31日 (主に土日祝日)	29	841
		宙語り2025春 スターライン -星の海の道しるべ-	3月5日～3月31日	46	2,765
全国配信番組	大人向け	宇宙は寝て待て!? —人工冬眠がひらく未来—	4月1日～4月7日 (主に土日祝日)	2	82
		ゴッホが描いた星空	4月1日～6月3日	87	6,955
		コズミック・ハーモニー 138億年の響き	6月5日～9月9日	121	9,054
		宇宙の模型 プラネタリウム誕生物語	9月11日～3月3日	197	7,861
		ECLIPSE THE MOMENTS OF WONDER 奇跡の天体ショー 日食と月食	3月5日～3月31日	39	1,498
	子ども向け	ヘーゼルナッツ 理想の星をさがして	4月1日～9月9日	180	18,475
		それいけ！アンパンマン 星空をかえせ	7月22日～3月31日	105	16,508
		おしりたんていコズミックフロント ～コズとなぞとき！ うちゅうのおおどろぼう	9月11日～12月2日	69	7,234

	プラネタリウム ドラえもん 宇宙の模型	12月4日～3月31日	97	12,083
計			1,589	125,390

(b) スペシャル放映

番組名	放映期間(2024年度)	回数	利用者数
Songs for the Planetarium 星空と巡るプレイリスト	4月1日～9月8日	122	5,392
プラネタリウム ちびまる子ちゃん 南十字星に魅せられて	4月1日～5月2日	8	179
スペースコロニー ～人類の新たな大地～	4月30日～5月2日	3	43
宇宙は寝て待て!? —人工冬眠がひらく未来—	7月22日～8月26日	24	565
星地巡礼 -Premium Nights-	12月4日～3月2日 3月25日～3月31日	71	2,785
アラビアンナイト ヒーリング ～星が舞う夜～	3月5日～3月31日	21	870
コズミック・ハーモニー 138億年の響き	3月25日～3月31日	5	181
計		254	10,015

(c) 学習放映・幼保放映

種別	番組名	放映期間(2024年度)	回数	利用者数
小学4年生向け(学習)	月と星	5月8日～3月17日	119	15,592
未就学児向け(幼保)	ほしのおはなし	5月15日 7月10日 10月9日 1月15日	4	310
計			123	15,902

②スペシャルイベント

ドームシアター空間を活用した多目的なイベントを行う。

イベント名	実施日	出演者等 (敬称略)	回数	利用者数
特別上映会 『ピンク・フロイド - The Dark Side Of The Moon』	4月3日 ～4月6日	(作品上映)	5	206
星語り 星生まれる山 『星生山(ほっしょうざん)』	4月21日	河野徹也	1	217
プラネタリウムでひとやすみ。 ～星と音楽に包まれるひととき～	5月11日	演出:角野知子・角田絢	2	432

星兄の 爆笑プラネタリウムショー	6月30日	星兄(ホシニイ)	1	215
「雲との上手な付き合い方」 すごすぎる天気図鑑シリーズ著者 荒木健太郎によるトークショー	7月13日	荒木健太郎	2	436
特別上映会 ファイナルファンタジーXIV 「エオルゼアの神々と星の物語」	7月22日 ～8月22日	(作品上映)	25	2,653
夏休み特別企画 プラネタリウムで スペースアドベンチャーⅢ Produced by COSMIC DANCE	8月3日	AKI YAMAMOTO、KP	2	410
星兄の 爆笑プラネタリウムショー	8月25日	星兄	1	206
『加藤和樹 LIVE in the DARK tour -星空リサイタル vol.2-』福岡公演	8月31日	加藤和樹 吹野クワガタ	1	212
サカナクション グッドナイト・プラネタリウム	9月11日 ～12月1日	(作品上映)	62	9,137
「プラネタリウム100周年」 ×「すばる望遠鏡25周年」記念 全国一斉オンライン講演会	10月19日	中継先特別講師: 宮崎聡	1	155
『中田裕二 LIVE in the DARK tour 2024』福岡公演	10月26日	中田裕二、四家卯大、 sugarbeans	1	158
『KEIKO LIVE in the DARK -Sagittarius- K021』福岡公演	10月26日	KEIKO、yas nakajima	1	146
星兄の 爆笑プラネタリウムショー	11月3日	星兄(ホシニイ)	1	164
大人のための熟睡プラ寝たリウム ～やすらぎの音楽とともに～	11月23日	演出:角田絢・工藤茉莉	3	484
中垣哲也 オーロラ映像投映&トークライブ	11月29日 11月30日	中垣哲也	3	507
『菊池桃子 LIVE in the DARK tour 2024 -Precious Starlight-』福岡公演	12月7日	菊池桃子	2	332
『堂珍嘉邦 LIVE in the DARK tour 2024 -AMANOGAWA-』福岡公演	3月22日	堂珍嘉邦 (当初計画:12月21日)	2	379
プラネタリウム特別上映会 『QUEEN -HEAVEN-』	12月24日 ～1月5日	(作品上映)	9	1,456
星降る南阿蘇2025 ～天文台LIVE中継～	1月26日	南阿蘇ルナ天文台 星のコンシェルジュ®	1	217
『伊澤一葉 LIVE in the DARK tour 2025』福岡公演	2月1日	伊澤一葉	1	209
震災特別番組 『星よりも、遠くへ』上映会	3月10日	(作品上映)	1	78
大人のための「もっと」熟睡 プラ寝たリウム ～春眠～	3月20日	演出:井土佳菜絵・ 工藤茉莉	2	323
星兄の 爆笑プラネタリウムショー	3月29日	星兄(ホシニイ)	1	112
計			131	18,844

(4) 学習支援事業

① 演示

(a) サイエンスショー

基本展示室の内容に関係あるプログラムや展示とは異なる科学とその見方を感じ取ってもらえるプログラムなど、多様なプログラムを展開し、来館者とコミュニケーションを取りながら実験ライブを実施する。学校休業日は1日6公演、平日は2公演実施。



「＊新規」は2024年度新規プログラム

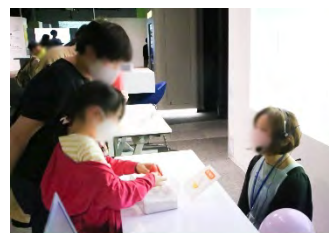
テーマ	実施期間	回数	参加者数
空気ってなあに？	3月～5月	125	4,957
ひびけ！音の実験ショー	4月～6月	117	3,867
とべ！とべ！サイエンスショー！	4月～5月	42	2,083
光のナゾを追え！	5月～7月	77	3,901
まわれ！まわれ！ぐるぐる大実験	6月～9月	139	8,242
ふしぎたい！天気のみみつたんけん隊＊新規	7月～9月	126	7,568
スペシャルサイエンスショー「Dr.ナダレンジャーの自然災害科学実験教室」※1	8月11日	1	282
もえろ！燃焼！実験ショー	8月～9月	91	6,137
冷たい世界	9月～10月	38	2,595
風・なぜ・ふしぎだぜ！	10月～1月	114	5,352
ポンポンコロコロ ○のみみつをさがれ！＊新規	10月～1月	103	4,644
おうちで Oh！ Yeah！サイエンスショー	11月～2月	83	4,168
風・なぜ・ふしぎだぜ！（キッズクルー）	12月26日	2	135
ドキドキ！おどろき！静電気！	1月～2月	62	2,574
ラララ♪科学の音楽会＊新規	1月～3月	106	4,024
ブクブク！あわのみみつ みつけ！＊新規	2月～3月	48	2,825
計		1,274	63,354

※1 8月11日外部講師による特別サイエンスショー

※2 8月29日 12:00～8月30日台風により臨時休館

(b) テーブルサイエンス

様々な分野の科学に対する興味・関心を持ってもらえるよう、科学実験の演示、科学の原理・原則の解説や参加型のプログラムなどを実施する。基本展示室内の2カ所に配置されたサイエンステーブルで、1日10回実施



「＊新規」は2024年度新規プログラム

テーマ	実施期間	回数	参加者数
キャストタイム	4月～3月	953	7,104
太陽系のなかまたち	4月～7月	242	1,501
空気の力を見てみよう	4月	54	381
スリルまんてん「圧力」実験	4月～5月	162	1,175
落ちるふしぎを見てみよう！	5月～6月	106	600
台風ってなに？ ＊新規	6月～9月	241	1,769
錯視を体験しよう！	7月～8月	141	1,334
知ろう！学ぼう！天気予報 ＊新規	8月～11月	212	1,557
磁石であそぼう！	9月～10月	103	926
学芸員実習生	9月15日	5	104
いきものに学ぼう！バイオメテイクス	10月～12月	204	1,280
雲のひみつ	11月～1月	176	1,256
昆虫を観察しよう～トンボ編～ ＊新規	12月～2月	198	1,160
ゆれのふしぎを考えよう！	1月～3月	187	1,043
化石ってなに？	2月～3月	102	694
ミクロの世界をのぞいてみよう	3月	56	372
サメはふしぎがいっぱい！ ＊新規	3月	21	172
計		3,163	22,428

※ 8月29日 12:00～8月30日台風により臨時休館

【キャスト実施テーブルサイエンス】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実施回数	261	260	243	275	280	255	258	259	239	256	225	271	3,082

②体験学習

(a) 体験学習プログラム・イベント

①科学実験プログラム

幼児や小中学生、高校生など、幅広い世代に対し、身に着けるべき知識・技能につながる体験や科学の原理・原則に基づいた科学実験、

1日2回土日祝および市内小学校長期休暇期間に実施。



「＊新規」は2024年度新規プログラム

テーマ	実施日	回数	参加者数
電気と磁石のふしぎ	4月1日～7日	14	161
磁石のふしぎを体験しよう	4月13日、14日、20日、21日、27日、28日、29日、30日	16	239
光のとおりみちを観察しよう	5月1日、2日、3日、4日、5日、6日、11日、12日、18日、19日、25日、26日	24	259
ペンの色のひみつを探ろう	6月1日、2日、8日、9日、15日、16日、22日、23日、29日、30日	20	320
煮干しの解剖教室	7月6日、7日、13日、14日、15日、20日、21日、22日、23日、34日、25日	22	386
電池をつくろう	7月26日～8月5日	22	432
草木染をやってみよう	8月6日～17日	24	521
光であそぼう	8月18日～26日、31日、9月1日	22	395
鏡のふしぎ (ビー玉万華鏡をつくろう)	9月7日、8日、14日、15日、16日、21日、22日、23日、28日、29日	20	486
海の生き物をさがそう	10月12日、13日、14日、19日、20日、26日、27日	14	154
ピンホールカメラをつくろう	11月2日、3日、4日、9日、10日、16日、17日、23日、24日、30日、12月1日	22	244
クリスマスアロマキャンドル をつくろう！	12月7日、8日	4	99
表面張力って知ってる？ ＊新規	12月14日、15日、21日、22日	8	83
ウインドカーを走らせよう	12月24日～27日、1月2日～6日	18	224
静電気であそぼう	1月11日、12日、13日、18日、19日、25日、26日	14	201
錯視の世界	2月1日、2日、8日、9日、11日、15日、16日、22日、23日、24日	20	187
CDこまを回そう＊新規	3月1日、2日、8日、9日、15日、16日、20日、22日、23日	18	192
磁石のふしぎを体験しよう	3月25日～31日	14	196
計		316	4,779

⑧ものづくりプログラム

身のまわりにある材料を使ったものづくりを体験、科学の原理・原則を楽しみながら学べるプログラム。1日2回土日祝および市内小学校長期休暇期間に実施。



『*新規』は2024年度新規プログラム

テーマ	実施日	回数	参加者数
ゴッホの毛糸ポンポンをつくろう	4月1日～7日、27日～30日、 5月1日～6日	34	633
スライムをつくろう	4月13日、14日、20日、21日、 7月20日～31日、8月1日～26日	84	2,093
地球くるくるをつくろう	5月11日、12日、18日、19日、25日、26日	12	250
マーブリングでカラフル工作	6月1日、2日、8日、9日、15日、16日、22日、23日、29日、30日	20	469
パラシュートをつくろう	7月6日、7日、13日、14日、15日、 3月25日～31日	24	535
紙コップでつくるロボットアーム	8月31日、9月1日、7日、8日、14日～16日、21日～23日、28日、29日	24	521
ホバークラフトをつくろう	10月5日、6日、12日～14日、19日、20日、26日、27日	18	399
バランスストンボをつくろう	11月2日～4日、9日、10日、16日、17日、23日、24日	18	337
絵が消えるカード	11月30日、12月1日、7日、8日、14日、15日、21日、22日	16	341
キーホルダーをつくろう	12月24日～27日	8	125
マクスウェルのコマをつくろう	1月2日～6日	10	186
ロボットハンドをつくろう *新規	1月11日～13日、18日、19日、25日、26日	14	329
リング紙飛行機をつくろう	2月1日、2日、8日、9日、11日、15日、16日、22日～24日	20	409
シャボン膜の観察ケースをつくろう *新規	3月1日、2日、8日、9日、15日、16日、20日、22日、23日	18	316
計		320	6,943

⑨セミナー・講座

科学への興味・関心の入口となるよう、最新の科学情報に関する話題や科学的要素を含んだ流行などの社会動向、来館者の要望などに応じて、様々なテーマでセミナー・講座を実施。



テーマ	実施日	会場	回数	参加者数	講師等 (敬称略)
おもちゃ病院	4月28日 5月26日 6月30日 7月28日 8月25日 9月22日 10月27日 11月24日 12月22日 1月26日 2月23日 3月23日	4階 サイエンス&クリエイティブ工房	12	392	エフネットグループ
ニュートンコース初級編	4月21日 5月 5日 5月19日 6月 2日 6月16日 6月30日 7月14日 9月 8日 9月22日	4階 交流室1 4階 実験室2	9	203	矢原徹一 平井 康之 宮田 潔志 岸村 顕広 吉岡 瑞樹 館スタッフ
ニュートンコース中級編	10月27日 11月10日 11月24日 12月 8日 12月22日 1月12日 2月 2日 3月 2日 3月16日	4階 交流室1 4階 実験室2	9	172	矢原徹一 平井 康之 村上 貴弘 濱村 奈津子 野中 里佐 館スタッフ
プリザーブドフラワーアレンジメント講座	4月17日 6月19日 10月16日 12月18日(中止) 2月19日(中止) ※1	5階 工作室1	3	23	宮川弥須子
「夏休みの自由研究」の準備を科学館で始めよう	7月24日	4階 実験室3	1	26	館スタッフ
おいしさのヒミツ ～明太子の科学～	8月19日	4階 交流室1	1	21	
S+Cチャレンジプログラム『虹づくりに挑戦!』	8月19日	4階 実験室2	1	13	館スタッフ
「夏休みの自由研究」の準備を科学館で始めよう	8月21日	4階 実験室3	1	22	館スタッフ
電波教室 ラジオをつくろう ※2	8月31日	5階 実験室3	0	0	福岡県電波適正利用推進員協議会委員

SDGs 家族会議 in FUKUOKA 2024	9月15日 9月29日 10月14日 10月27日 11月24日 12月1日 12月22日	4階 交流室1 九州大学伊都 キャンパス	7	155	
2024年度 博物館実習	9月4日～9日、11 日～13日、15日	館内各所	10	50	館スタッフ
【開館7周年記念】若田 光一宇宙飛行士講演 会「宇宙飛行士のお仕 事を若田さんに聞こう」	11/3(日・祝)	6階 サイエ ンスホール	2	517	若田光一
サイエンスコミュニケー ション講座	1月25日、26日	4階 交流室1	2	34	矢原徹一 井上香織 西澤息吹 高安礼士 小川達也 ※3
元村有希子氏特別講 演会「科学のミカタ」	1月26日	6階 サイエ ンスホール	1	101	元村有希子
講演会「天体観測で解 き明かす太陽系のひみ つ」	3月2日	3階企画展 示室	1	88	吉田二美
講演会「生命のみなも とは宇宙にあり!？」	3月8日	3階企画展 示室	1	62	奈良岡浩
はるきたよーみんなで 春を描こうー	3月20日	4階 交流室1	1	42	きくちちき
電子顕微鏡で見るミク ロの世界の不思議?!	3月29日	4階 実験室3	2	25	サイエンス福岡クラ ブ
特別展「絵本と遊ぼう はじめての?」展 関連 イベント 大かざぐるま 大会	3月29日	4階 実験室2	1	28	YES AND
水素エネルギーを体験 してみよう!	3月9日	4階 実験室3	2	27	館スタッフ
計			67	2,001	

※1講師都合で中止(12月18日、2月19日)

※2 台風の影響により中止

※3矢原徹一(福岡市科学館館長)

井上香織(福岡市科学館)

西澤息吹(福岡市科学館)

高安礼士(日本サイエンスコミュニケーション協会、福岡市科学館アドバイザー)

小川達也(日本サイエンスコミュニケーション協会)

⑨サイエンスカフェ

科学者との関わりや会話によって、科学への興味を深掘りし、最新の科学情報に関する話題や科学的要素を含んだ流行などの社会動向について、科学者と科学について気軽に語り合う場を設置。



内容	実施日	回数	参加者数	共催・講師等（敬称略）
「迷子のセマルハコガメ～天然記念物なのに外来種なの？～」	4月14日	1	51	福岡第一高等学校・第一薬科大学付属高等学校 水中生物研究会
「館長新種発見伝」	5月18日	1	23	福岡市科学館館長 矢原徹一
いたるところに科学『SCと語らうカフェ』	6月29日	1	14	HUMIコンサルティング中村佳史・福岡市科学館サイエンスコミュニケーター林千恵
有吾式 天気の図鑑の楽しみ方	7月20日	1	18	気象予報士 修猷館高校1年 島田有吾
ダイヤモンドが秘める科学	8月3日	1	28	国立研究開発法人産業技術総合研究所 大曲新也
銀河鉄道の星々 100年前の宇宙観	8月29日（中止）	1	0	福岡市科学館学芸員 丹野佳代子 ※台風のため中止
スタッフと語らうサイエンスカフェ「いたるところに科学『水のふしぎ』」	9月7日	1	22	HUMIコンサルティング中村佳史、サイエンスコミュニケーター井上
交通トーク 私たちは渋滞がキライなんです！	9月16日	1	14	佐藤 由菜（九州大学大学院工学府 土木工学専攻 国土政策・防災研究室 修士2年）
道草さんぽ～発見！実験！植物のヒミツ	11月16日	1	42	多田多恵子（植物学者）
わさびのきた道	12月14日	1	20	岐阜大学教授 山根京子
星ってどうやって生まれるの？～スーパーコンピュータで解き明かす星の卵	2月11日	1	19	野崎 信吾（九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻 博士課程1年）
肌トラブル解決法～私の肌はなぜ荒れる？	3月9日	1	24	大高 昌（株式会社ACRO）協力：福岡市立城西中学校、（一社）ジャパン・コスメティックセンター
計		12	275	

㊦天体観測会

年間を通して、福岡の天空に広がる星々を直接見てもらう天体観測会を定期的に開催。

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実施回数(回)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
参加人数(人)	0	53	36	13	61	36	76	61	41	13	40	76	506

※雨天・曇天中止 4月11日、4月14日、6月21日、7月12日、9月25日、12月21日、1月6日、2月5日

⑦フィールドワーク

福岡市内各所を巡り、身近なまちの景色のなかにある「科学」を発見・体感する体験学習を実施。



内容	実施日	回数	参加者数	共催・講師等（敬称略）
大濠公園で野鳥を観察しよう	4月6日、12月14日	2	13	福岡市科学館教育アドバイザー 高原和幸
矢原館長と舞鶴公園へ新種をさがしに行こう	4月27日	1	20	福岡市科学館館長 矢原徹一
身近な岩石・鉱物を見てみよう！	5月11日、10月12日	2	15	うきは市森林セラピーガイド 光岡裕子
サイエンススポットまち歩き～シーサイドももち編～	5月18日	1	17	HUMIコンサルティング 中村佳史氏
ゴッホの描いた植物をさがそう	5月25日	1	11	福岡市科学館サイエンスコミュニケーター 坂部初実
のぞいてみよう 顕微鏡の世界	6月23日、2月11日午前・午後	3	35	福岡市科学館サイエンスコミュニケーター 坂部初実
サイエンススポットまち歩きワンアップ～動物情報館編～	6月8日、6月22日、7月6日	3	56	HUMIコンサルティング 中村佳史氏
空飛ぶケモノ コウモリ	7月26日、8月6日、8月20日	3	25	福岡市科学館サイエンスコミュニケーター 坂部・西澤
はじめてのフィールドワーク「おやこでしぜんはっけん隊！」	8月8日、11月7日	2	18	福岡市科学館スタッフ 米村葉月
フィールドワーク「みんながつながる川と海」	9月23日、11月2日（中止）	2	26	※11/2地行浜は大雨のため中止 一般社団法人ふくおかFUN、福岡市科学館SC 坂部・西澤
お空のかんさつ会	10月25日	1	10	福岡市科学館サイエンスコミュニケーター 長沼歩
サイエンススポットまち歩き～特別編～	11月23日、11月24日	2	39	東京すりばち学会 皆川氏/HUMIコンサルティング 中村
街ではっけん！化石ビンゴ	10月6日	1	12	福岡市科学館スタッフ 高瀬美菜子
お外で遊ぼう！やってみよう！	3月14日	1	7	福岡市科学館サイエンスコミュニケーター 坂部・西澤
「セメント工場」を見てみよう！	3月28日	1	24	UBE三菱セメント(株)九州工場 科学館スタッフ
	計	26	328	

(b) ロボスクエアに関する運営

YOKAロボまつり等の7つの事業開催と、各種コンテスト出場のための講座を行う。

■大会

実施内容	実施日	回数	参加者数	会場
YOKAロボまつり・バトル大会	6月19日、10月20日、12月15日、1月26日、3月16日	5	3,066	5階 オープンラボ
ヒューマノイドカップロボットバトル大会	2月2日	1	100	6階 サイエンスホール
ロボカップジュニア関連大会 ・ロボチャレンジ大会 ・福岡ノード大会 ・九州ブロック大会	11月10日 12月8日 1月12日	3	150 140 150	6階 サイエンスホール
火星ローバーコンテスト	8月3日 準備・コース開放 8月4日	1	400	6階 サイエンスホール
スカベンジャーロボ競技大会	2月22日	1	2	5階 オープンラボ
ロボメカデザインコンペ	12月21日	1	60	6階 サイエンスホール
出張出前講座(村田製作所)	① 2月26日 ② 2月27日 ③ 2月28日	6	433	① 城原小学校、百道浜小学校 ② 東吉塚小学校4年生、東吉塚小学校3年生 ③ 内野小学校、賀茂小学校
NHK小学生ロボコン福岡市科学館大会	12月22日	1	40	6階 サイエンスホール
計		19	4,541	

■教室

実施内容	実施日	回数	参加者数	会場
YOKAロボまつり練習会	4月14日、5月19日、7月7日、8月25日、9月15日、11月10日、2月26日	7	65	5階 工作室1
火星ローバーロボット工作教室	7月22日、23日	2	20	5階 工作室1
火星ローバープログラミング教室	7月15日	1	9	4階 実験室3
親子でプログラミングロボット体験教室	4月27日、8月31日、12月14日、3月15日	4	14	5階 工作室2
プログラミングロボット工作教室～ライントレ	5月25日、6月29日、9月28日(中止)※、10月26日(中止)※、1月25日、2月22日	4	8	5階 工作室2

ースロボットをつくろう ～	※参加者不足のため中止			
スカベンジャーロボット 工作教室	8月24日、9月14日、12月7日	3	20	5階 工作室1
スカベンジャーロボット レベルアップ教室	1月25日	1	7	5階 工作室1
めざせ！福岡市科学 館ロボコンへの道！	11月30日、12月1日	2	13	4階 実験室3
プログラミング体験教 室（初心者向け）	4月20日、6月1日、10月14日、11 月4日、12月25日、1月13日、3月2 日、3月8日	8	19	5階 工作室2
対策プログラミング教 室	7月20日	1	2	5階 工作室2
プログラミングでデジタ ル工作～レーザーカッ ターでコースターを作 ろう～	11月17日、3月1日、3月20日	3	12	4階 S&C工房
プログラミングでくるま をうごかそう（初心者向 け）	3月23日	1	2	5階 工作室2
計		37	191	

(c) クラブ活動

継続的に共に科学を学ぶ仲間づくりができるよう、自らの興味や関心に応じて自由に参加できるクラブを設置。またオンライン、通年参加、前期・後期の3パターンで実施。

無線クラブ、天文クラブは通年で実施。

ネイチャークラブ、こどもの物理クラブ～物理って知ってる？～、大人のデジタル工作クラブ、ちきゅう実験クラブ、ロボットクラブ、AIクリエイティブクラブは、前期・後期で実施。

■無線クラブ（通年継続講座）

対象：小学4年生～高校3年生、クラブメンバー数：15人、講師（敬称略）：城戸伸夫

実施日	内容
4月14日	クラブ開講式 会員紹介及び年間活動予定
4月28日	無線通信による情報交換、免許取得指導
5月12日	無線通信による情報交換、免許取得指導
5月26日	無線通信による情報交換、免許取得指導
6月9日	無線通信による情報交換、免許取得指導
6月23日	無線通信による情報交換、免許取得指導
7月7日	無線通信による情報交換、免許取得指導
7月21日	無線通信による情報交換、免許取得指導
8月4日	無線通信による情報交換、免許取得指導
8月18日	無線通信による情報交換、免許取得指導
9月1日	半田付け実習・免許取得指導
9月15日	無線通信による情報交換
9月29日	アンテナの製作および実験
10月20日	PCの初歩、通信による情報交流
11月10日	野外での無線通信実験（天候により順延可）
11月24日	無線通信による情報交換
12月8日	無線通信による情報交換
12月22日	無線通信による情報交換
1月12日	電子工作
1月26日	無線通信による情報交換
2月9日	無線通信による情報交換
2月23日	無線通信による情報交換
3月8日	無線通信による情報交換
3月23日	閉講式（見学会）

■天文クラブ（通年継続講座）

対象：小学4年生～6年生、クラブメンバー数：10人、講師（敬称略）：小坂隆敏

実施日	内容
4月13日	イントロダクション・座学①
4月20日	プラネタリウム 宙語り春、座学（春の星座）

5月18日	天体観測(月、春の星)、望遠鏡の使い方その1
5月25日	座学②望遠鏡に詳しくなろう
6月8日	天体観測(月、初夏の星)
6月22日	座学③月、星座早見盤を作ろう
7月6日	座学④望遠鏡の使い方、星雲・星団
7月20日	プラネタリウム 宙語り夏、座学(夏の星座)
8月10日	天体観測(月、夏の星)
8月24日	座学⑤太陽系の天体を知ろう
9月7日	天体観測(月、初秋の星)
9月21日	座学⑥望遠鏡を作ろう
10月19日	天体観測(土星、秋の星)
10月26日	プラネタリウム 宙語り秋、座学(秋の星座)
11月9日	天体観測(月、木星、土星、初冬の星)
11月16日	座学⑦星について知ろう
12月7日	天体観測(月、金星、木星、土星、すばる)
12月21日	座学⑧宇宙
1月11日	プラネタリウム 宙語り冬、座学(冬の星座)
1月25日	天体観測(金星、火星、木星、土星、冬の星座)
2月8日	天体観測(月、金星、火星、木星、冬の星座)
2月22日	座学⑨Mitaka で宇宙を探検しよう
3月8日	天体観測(月、金星、火星、木星、春の星座)
3月22日	座学⑩四分儀を作ってみよう、一年間を振り返ろう

■ネイチャークラブ

対象: 小学3～6年生、クラブメンバー数: 前期12人、後期12人、講師(敬称略): 荒木信行

実施日	内容(前期)
4月13日	化石って知ってる
4月20日	目の錯覚(プラネタリウム春 13時～)
5月18日	表面張力って知ってる
6月1日	樋井川の生き物観察をしよう(野外)
6月8日	ホタルを観察しよう(野外)
6月22日	天神化石探検(野外)
7月13日	プランクトンや植物の気孔を観察しよう(プラネタリウム夏 13時～)
7月27日	昆虫採集をしよう(野外)
8月24日	人の体はどうなってるの(プラネタリウム夏 13時～)
8月31日	空気って知ってる
9月14日	月を見よう(野外) 月齢11日
9月28日	種の秘密
実施日	内容(後期)
10月19日	樋井川の生き物観察をしよう(野外) 干潮16時42分
10月26日	昆虫採集をしよう(野外)
11月2日	音って知ってる

11月23日	プランクトンと植物(プラネタリウム秋 13時～)
12月14日	月を見よう(野外) 月齢12.9日
12月21日	人の体はどうなってるの
1月11日	目の錯覚(プラネタリウム冬 13時～)
1月25日	バードウォッチング(野外)
2月8日	化石って知ってる
2月22日	天神化石探検(野外)
3月8日	種の秘密
3月22日	静電気って知ってる

■こどもの物理クラブ～物理って知ってる？～

対象: 小学3～6年生、クラブメンバー数: 前期12人、後期12人、講師(敬称略): 荒木信行

実施日	内容(前期)
4月13日	飛行機はなぜ飛ぶのか知ってる
4月20日	バランスって知ってる
5月18日	空気砲って知ってる
6月1日	ロケットって知ってる
6月8日	空気って知ってる(プラネタリウム夏 15:30～)
6月22日	表面張力って知ってる
7月13日	音って知ってる
7月27日	光って知ってる
8月24日	摩擦って知ってる
8月31日	電磁石って知ってる
9月14日	慣性の法則って知ってる
9月28日	重さって知ってる
実施日	内容(後期)
10月19日	飛行機はなぜ飛ぶのか知ってる
10月26日	バランスって知ってる
11月2日	音って知ってる
11月23日	空気砲って知ってる
12月14日	重さって知ってる
12月21日	表面張力って知ってる
1月11日	ロケットって知ってる
1月25日	光って知ってる(プラネタリウム冬 13時～)
2月8日	摩擦って知ってる
2月22日	空気って知ってる
3月8日	慣性の法則って知ってる
3月22日	静電気って知ってる

■大人のデジタル工作クラブ

対象: 18歳以上、クラブメンバー数: 前期5人、後期5人、講師(敬称略): 鈴谷瑞樹

実施日	内容(前期)
4月10日	Inkscape とレーザーカッター実習 1
4月24日	Tinkercad と 3D プリンター実習 1
5月8日	Inkscape とレーザーカッター実習 2
5月22日	Tinkercad と 3D プリンター実習 2
6月5日	アイデアスケッチとライセンスについて
7月3日	製作物のアイデア出しとアドバイス
7月17日	製作実習 1
7月24日	製作実習 2
8月7日	製作実習 3
8月21日	製作実習 4
9月11日	製作実習 5、発表ツールの完成
9月18日	ふりかえり(未完了の作業)
実施日	内容(後期)
10月9日	Inkscape とレーザーカッター実習 1
10月23日	Tinkercad と 3D プリンター実習 1
11月6日	Inkscape とレーザーカッター実習 2
11月20日	Tinkercad と 3D プリンター実習 2
12月4日	アイデアスケッチとライセンスについて
12月18日	製作物のアイデア出しとアドバイス
1月8日	製作実習 1
1月22日	製作実習 2
2月5日	製作実習 3
2月19日	製作実習 4
3月5日	製作実習 5、発表ツールの完成
3月19日	ふりかえり(未完了の作業)

■ちきゅう実験クラブ

対象: 小学4年生～高校3年生、クラブメンバー数: 前期20人、後期13人、講師(敬称略): 清水楓太

実施日	内容(前期)
4月7日	スマホ・PC の使いかたを練習しよう!
4月21日	重力加速度を調べよう①～速さ・加速度って何?～
5月6日	重力加速度を調べよう②～動画から加速度を調べる～
5月19日	スマホを使って高さを調べよう①～距離と角度を調べる～
6月2日	スマホを使って高さを調べよう②～三角形で高さがわかる～
6月16日	地球の大きさを調べよう①～GPS で緯度と経度を調べる～
6月30日	地球の大きさを調べよう②～歩測と経緯度で大きさ調べ～
7月14日	気圧センサーで迷子を探す①～気圧データの収集～
7月28日	気圧センサーで迷子を探す②～階層推定の計算～
8月11日	データの可視化～分析の基本グラフの書き方を学ぶ～
8月25日	発表準備: パワーポイントの使いかたと発表資料の見せ方

9月8日	研究発表:これまでにを行った実験から一つ選んで、みんなの前で発表しよう！
実施日	内容(後期)
10月27日	重力加速度を調べよう①～速さ・加速度って何？～
11月3日	重力加速度を調べよう②～動画から加速度を調べる～
11月17日	スマホを使って高さを調べよう①～距離と角度を調べる～
12月1日	スマホを使って高さを調べよう②～三角形で高さがわかる～
12月15日	地球の大きさを調べよう①～GPSで緯度と経度を調べる～
1月5日	地球の大きさを調べよう②～歩測と経緯度で大きさ調べ～
1月19日	気圧センサーで迷子を探す①～気圧データの収集～
2月2日	気圧センサーで迷子を探す②～階層推定の計算～
2月16日	データの可視化～分析の基本グラフの書き方を学ぶ～
3月2日	発表準備:パワーポイントの使いかたと発表資料の見せ方
3月16日	研究発表:これまでにを行った実験から一つ選んで、みんなの前で発表しよう！

■ロボットクラブ

対象:小学3年生～高校3年生、クラブメンバー数:前期20人、後期20人、講師(敬称略):清水楓太

実施日	内容(前期)
4月7日	PCとプログラミングソフトの使いかたを練習しよう！
4月21日	「月面基地着陸ミッション」を成功させよう
5月6日	赤外線センサーで防犯装置！？
5月19日	「クレーター脱出」ミッション！出口が一つしかないクレーターから脱出できるか？
6月2日	「電子温度計」ミッション Part 1！危険な温度になったら警報を鳴らそう
6月16日	「電子温度計」ミッション Part 2！温度を液晶に表示しよう
6月30日	ラ인트レースロボットを作ってみよう！センサー2つを使うには？
7月14日	いろいろなセンサーの組み合わせを考えてみよう
7月28日	ロボットサッカー
8月11日	総復習 今までのプログラムを振り返る
8月25日	ミニコンテスト課題の練習
9月8日	ミニコンテスト！
実施日	内容(後期)
10月27日	「月面基地着陸ミッション」を成功させよう
11月3日	赤外線センサーで防犯装置！？
11月17日	「クレーター脱出」ミッション！出口が一つしかないクレーターから脱出できるか？
12月1日	「電子温度計」ミッション Part 1！危険な温度になったら警報を鳴らそう
12月15日	「電子温度計」ミッション Part 2！温度を液晶に表示しよう
1月5日	ラ인트レースロボットを作ってみよう！センサー2つを使うには？
1月19日	いろいろなセンサーの組み合わせを考えてみよう
2月2日	ロボットサッカー
2月16日	総復習 今までのプログラムを振り返る
3月2日	ミニコンテスト課題の練習
3月16日	ミニコンテスト！

■AIクリエイティブクラブ

対象：小学4年生～高校3年生、クラブメンバー数：前期10人、後期10人、講師（敬称略）：清水楓太

実施日	内容（前期）
4月14日	PC操作の練習～基本操作を習得しよう～
4月28日	BGMを作ろう～雰囲気にあった音楽をつくる～
5月12日	画像生成AIを使おう～構成を考える練習～
5月26日	動画編集ソフトの使いかたを学ぶ①テロップ、シーンチェンジ、カットなど
6月9日	動画編集ソフトの使いかたを学ぶ②効果音、BGM、アニメーション効果など
6月23日	CMを作ろう①～シナリオ・構成を考える ChatGPTと相談～
7月7日	CMを作ろう②～動画の素材を集めよう～
7月21日	CMを作ろう③～動画を完成させよう～
8月4日	みんなの作品をしてみる・自主制作のテーマ決め
8月18日	自主制作①
9月1日	自主制作②
9月15日	自主制作③
実施日	内容（後期）
10月6日	PC操作の練習～基本操作を習得しよう～
10月20日	SongMakerで音楽を作ろう/雰囲気に合ったフリーの楽曲を探そう
11月10日	画像生成AIを使おう～構成を考える練習～
11月24日	動画編集ソフトの使いかたを学ぶ①テロップ、シーンチェンジ、カットなど
12月8日	動画編集ソフトの使いかたを学ぶ②効果音、BGM、アニメーション効果など
12月22日	CMを作ろう①～シナリオ・構成を考える ChatGPTと相談～
1月12日	CMを作ろう②～動画の素材を集めよう～
1月26日	CMを作ろう③～動画を完成させよう～
2月9日	みんなの作品をしてみる・自主制作のテーマ決め
2月24日	自主制作①
3月9日	自主制作②
3月23日	自主制作③

③学校連携

(a) 1日学習

福岡市立の小学4年生を対象とし、実験教室、ドームシアターでの学習投映、基本展示室体験を中心に、学校の要望に応じて複合的な学習を展開。

利用実績

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	0	1,069	1,532	678	0	1,668	1,915	1,580	1,476	1,711	1,300	512	13,441
件数	0	10	14	7	0	22	17	17	14	19	15	6	141

1日の時間割例（当日の参加学校数や児童数により変動）

■プログラム例(120名以下の場合)

10:00～10:15	朝の会		
10:30～11:15	ドームシアター 学習投映		
11:30～12:15	基本展示		
12:15～13:00	昼食		
13:15～14:00	実験教室(化学)	実験教室〈生物〉	実験教室〈物理〉
14:15～14:30	帰りの会		

■プログラム例(121名以上の場合)

2校(地球小学校・科学小学校)が別々に食事をとることができるように昼食の時間帯をずらして設定

10:00～10:15	朝の会(地球小学校・科学小学校)		
10:30～11:15	ドームシアター 学習投映(地球小学校・科学小学校)		
11:30～12:15	地球小学校実験教室		
	実験教室〈化学〉	実験教室〈生物〉	実験教室〈物理〉
	科学小学校 昼食		
12:30～13:15	地球小学校 昼食		
	科学小学校 基本展示室体験		
13:15～14:00	地球小学校 基本展示体験		
	科学小学校実験教室		
	実験教室〈化学〉	実験教室〈生物〉	実験教室〈物理〉
14:15～14:30	帰りの会(地球小学校・科学小学校)		

(b) 出前授業(移動天文台事業・移動科学館事業含む)

福岡市内の小学校・中学校などを対象とし、学校の依頼に応じて移動天文車や移動科学館車を活用し、天体観測や移動プラネタリウム、サイエンスショー、科学実験プログラム等を実施。

また、科学館スタッフが演示をする『ゲストティーチャー型』と児童が演示をするのを手助けする『活動支援型』を実施。

『ゲストティーチャー型』(授業時間内)

訪問先	実施日	参加者数
城西中学校(水素)	5月9日	227
笹丘小学校(4・5・6年)	7月9日	318
笹丘小学校(1・2・3年)	7月10日	351
板付小学校	7月11日	116
千早西小学校 6年生	7月12日	62
内野小学校	9月11日	27
入部小学校	9月19日	72
高木小学校(クラブ)	9月25日	21
小呂小中学校	9月26日	12
筑紫丘小学校(クラブ)	9月27日	30
平尾小学校(クラブ)	9月30日	33
今津特別支援学校(小学部5年生)	10月3日	18
西新小学校(クラブ)	10月10日	40
百道浜小学校(3年生)	10月18日	91
原西小学校	10月23日	128
長尾小学校	10月26日	667
高木小学校(4年生)	11月7日	87
今津特別支援学校(高等部1, 2, 3年)	11月8日	50
城原小学校(クラブ)	11月21日	23
南当仁小学校	11月22日	130
大楠小学校 6年生	11月28日	64
大池小学校(クラブ)	11月29日	30
千早西小学校 5年生	12月4日	55
金武小学校	12月9日	116
壱岐中学校 1	12月11日	123
壱岐中学校 2	12月18日	82
大楠小学校 5年生	12月19日	66
若久特別支援学校	1月15日	50
百道浜小学校(クラブ)	1月20日	22
玉川小学校(クラブ)	1月22日	36
高宮小学校(クラブ)	1月23日	30
東吉塚小学校	1月27日	106
筑紫丘小学校6年生	2月7日	112
姪浜小学校	2月13日	30
計		3,425

『ゲストティーチャー型』(授業時間外)

訪問先	実施日	参加者数
愛宕浜小放課後児童クラブ	7月24日	45
有住小放課後児童クラブ	7月25日	40
春吉小放課後児童クラブ	7月26日	37
八田小放課後児童クラブ	7月29日	70
千代小放課後児童クラブ	8月1日	40
内野小放課後児童クラブ	8月2日	50
城浜小放課後児童クラブ	8月5日	11
今津小放課後児童クラブ	8月6日	50
入部小放課後児童クラブ	8月7日	50
南当仁小放課後児童クラブ	8月8日	100
弥永小放課後児童クラブ	8月9日	40
月隈小放課後児童クラブ	8月19日	40
西陵小放課後児童クラブ	8月21日	40
西都北小放課後児童クラブ	8月22日	60
西戸崎小放課後児童クラブ	11月18日	70
脇山小放課後児童クラブ	12月26日	35
計		778

『活動支援型』

訪問先	実施日	参加者数
笹丘小学校	7月10日	106
計		106

(c) 学校教員との連携

●教員向けセミナー、定例会 等

内容	実施日	回数	参加者数
一日学習説明会	4月15日	1	138
南片江小 生物教材(ミジンコ)を提供し、飼育の仕方、観察の仕方を説明	5月23日	1	2
警固小 生物教材(ミジンコ)を提供し、飼育の仕方、観察の仕方を説明	5月23日	1	1
赤坂小 生物教材(ミジンコ)を提供し、飼育の仕方、観察の仕方を説明	5月29日	1	1
笹丘小 生物教材(ミジンコ)を提供し、飼育の仕方、観察の仕方を説明	6月3日	1	5
城浜小 生物教材(ミジンコ)を提供し、飼育の仕方、観察の仕方を説明	6月12日	1	1
長尾小 生物教材(ミジンコ)を提供し、飼育の仕方、観察の仕方を説明	6月12日	1	1
田島小 生物教材(ミジンコ)を提供し、飼育の仕方、観察の仕方を説明	6月12日	1	3
七隈小 生物教材(ミジンコ)を提供し、飼育の仕方、観察の仕方を説明	6月17日	1	2
福重小 生物教材(ミジンコ)を提供し、飼育の仕方、観察の仕方を説明	6月17日	1	1

笹丘小4～6年希望者 サイエンスフェスタ出前授業 バランス	7月9日	1	26
笹丘小4～6年希望者 サイエンスフェスタ出前授業 音のふしぎ	7月9日	1	34
今津小 科学わくわく出前授業	8月28日	1	36
中村大学教育学部幼児教育学科 生物教材(ミジンコ)を提供し、飼育の仕方、観察の仕方を説明	9月25日	1	2
松島小 科学わくわく出前授業 1・2・3組	11月6日	1	94
松島小 科学わくわく出前授業 4・5組	11月7日	1	62
福浜小 科学わくわく出前授業	2月19日	1	26
計		17	435

■博物館実習

内容	実施日	参加者数
2024年度 博物館学芸員実習	9月4日～9日、11日～13日、15日	5
計		5

④アウトリーチ活動

移動天文車や移動科学館を活用し、公民館や公共施設に出向いて、移動プラネタリウム、サイエンスショー、科学実験プログラム等を実施。また、科学館スタッフが演示をする『ゲストティーチャー型』と地域の方々が演示をするのを手助けする『活動支援型』を実施。

『ゲストティーチャー型』

訪問先	実施日	参加者数
NHK 福岡放送局	5 月 3 日	161
西都公民館	8 月 20 日	20
美和台公民館	8 月 23 日	30
塩原 3 丁目子ども会【北川】	9 月 7 日	20
有田公民館 わくわくまなび隊	9 月 7 日	40
クレシュ六本松(保育園)	9 月 9 日	61
株式会社リックコミュニケーションズ(ミーナ天神)	9 月 14 日	50
舞松原公民館	9 月 15 日	20
一般財団法人九州環境管理協会(まもるーむ福岡)	9 月 21 日	30
(株)さなる九州 九大進学ゼミ	10 月 5 日	50
和白図書館	10 月 6 日	30
壱岐東公民館	10 月 13 日	50
地下鉄フェスタ	10 月 27 日	300
南片江ハムスター広場(南片江公民館)	11 月 2 日	12
早良公民館	11 月 3 日	15
東住吉保育園	11 月 14 日	70
東箱崎公民館	11 月 17 日	30
日佐公民館	12 月 14 日	30
野芥公民館	1 月 18 日	14
五つ星ガイドの会	1 月 25 日	20
マリア幼稚園 マリアの会①	1 月 30 日	93
マリア幼稚園 マリアの会②	1 月 31 日	90
堤丘校区青少年育成連合会	2 月 9 日	30
西都北公民館	2 月 16 日	20
名島校区おやじの会	2 月 23 日	90
壱岐南公民館	3 月 15 日	20
笹丘公民館	3 月 22 日	6
計		1,402

『病院・福祉施設等』

訪問先	実施日	参加者数
こども病院 院内学級(照葉小学校)	1月29日	4
こども病院 院内学級(照葉小学校)	2月17日	7
計		11

⑤サイエンスナビ活動

(a) サイエンスナビ

多様な情報を探索できるサイエンスナビシステムや、科学的な思考にいざなう書棚、ミッションボードなどで、科学の楽しさを体感できる空間。

(b) イベント(おはなし会)

実施日	参加者数	実施日	参加者数
4月20日	17	10月19日	20
5月18日	12	11月30日	19
6月15日	15	12月21日	22
7月13日	32	1月18日	29
8月17日	42	2月15日	14
9月21日	28	3月23日	18
計			268

(c) 図書貸出冊数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
当館所蔵書籍	642	688	931	913	966	750	802	781	711	690	766	786	9,426
市図書館所蔵	8,242	8,761	9,207	8,623	9,334	5,840	10,045	10,059	8,861	9,028	9,242	8,758	106,000

(d) サイエンスナビ内展示物

主な展示場所: サイエンスナビ書棚・ガラス窓

内容	展示期間
新刊コーナー	4月26日～6月18日
たんぽぽについて	5月1日～5月31日
動くゴッホ展	2024年2月21日～6月16日
天気の図鑑展	6月18日～9月9日
天の川について	7月1日～7月31日
自由研究について	7月1日～8月31日
コウモリについて	8月1日～8月31日
化石について	9月11日～10月14日
毒展	10月16日～2月18日
新刊コーナー	11月25日～1月19日
AI とロボット	1月20日～3月17日
科学館にお越しになった先生方の本	2月19日～3月17日
絵本とあそぼう関連書籍	3月19日～5月8日

(e) サイエンススポット登録

12箇所を新規登録。

身近な鉱物・鉱石、新種発見！（舞鶴公園）、ももち浜、動物情報館、六本松421 屋上庭園、お空のかんさつ会、街で発見！化石ビンゴ、「谷」の地形、赤坂・桜坂・けやき通り、福岡の発展を感じるスポット、1800年前の海、街なかにある博多湾の痕跡

(5) 交流事業

①地域交流

■2024かがく夏まつり

期間	8月6日
会場	6階サイエンスホール
参加者数	1,555人
主催	福岡市科学館
実施内容	福岡市内に点在する学校の学生及び生徒が先生役として科学館に集合し、未就学児とその保護者に科学に親しんでもらうフェスタを開催する。科学に興味のない地域の親子でも気軽に参加でき、地域の大学生、高校生とふれあうなかで科学に関心を持ってもらえるイベントとする。

■六本松健康ウォークVol.3「キツキビンゴ」

期間	10月27日
会場	六本松421ビル周辺
参加者数	88人(うち保護者30人)
主催	福岡市科学館
実施内容	散歩をしながら六本松周辺で見られる草木や昆虫など9種類を探し、ビンゴをめざす。家族で身近な生きものについて話し合ったり、目的の生きものを探しながら散歩をしたりすることで、身近な自然に興味を持つきっかけとなることをめざした。

②リピート利用に向けた取り組み

(a) 科学館ファンクラブの登録者数及び運営状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規登録者数	40	48	51	27	44	45	21	39	23	28	22	36	424
開館からの累計													5,385

(b) 年間パスポート購入枚数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規登録者数	319	238	264	451	331	211	138	94	278	166	153	223	2,866

③広報・情報発信の状況

(a) 広報誌、リーフレット、ホームページ 等

種別	内容	発行時期	備考
館案内リーフレット	日本語/英語併記版、日本語/中国語(簡・繁)併記版、日本語/韓国語併記版	随時	
施設案内	各フロア紹介、施設利用案内、マップ、各種料金などを掲載	随時	
福岡市科学館 年報	2023年度(令和5年度)版	年1回	館ホームページに掲載
季刊誌「SCIENCE & CREATIVE」	科学に関する解説や、館の行事予定などを掲載	年4回	Vol.20～23 9万1千部
アクティビティタイムテーブル	サイエンスショー、科学実験プログラムなど活動の情報を掲載	毎月	
投映スケジュール	ドームシアターの番組情報や投映スケジュールを掲載	毎月	
ポスター	特別展やドームシアター番組などを掲出	随時	地下鉄や市の広報板など
チラシ	イベントごとにチラシを作成し配布	随時	市民利用施設など
市内小中学校生無料券引換チラシ	基本展示室とドームシアター一般番組が利用可能	年1回	市内全小中学校生の児童生徒に配付(約13万部)
デジタルサイネージ	特別展やドームシアター番組などを掲出	随時	地下鉄六本松駅、六本松421内1、3、4、6階など
ホームページ	館の情報提供やイベント案内などを掲載	随時	
メルマガ	館のイベント情報などを発信	月1～2回	
X(旧ツイッター)、LINE、Instagram、Facebook、	館のイベント情報などを発信	ほぼ毎日	

(b) メディア掲載件数

放送	48件
新聞、出版、情報誌、WEB掲載等	593件

(c) 情報発信(うちde科学館)

当館の活動プログラム等を紹介するコンテンツ発信をHPやSNSで行なう。科学館に直接足を運ぶことのできない遠方の方や、臨時休館中でも、当館の取組みや科学情報を提供できる。

タイトル	アップロード日	媒体
[レポート]サイエンスカフェ こどもと一緒に身の回りの「？」を楽しもう	4月11日	HP、Facebook、X、Instagram、LINE VOOM
[レポート]サイエンスカフェ「もっと好きになる！ツシマヤマネコの魅力」	4月16日	HP、Facebook、X、Instagram、LINE VOOM
[レポート]フィールドワーク「大濠公園で野鳥を観察しよう」	5月10日	HP、Facebook、X、Instagram、LINE VOOM

[レポート]フィールドワーク「身近な岩石・鉱物を見てみよう！」	6月17日	HP、Facebook、X、Instagram、LINE VOOM
[天文トピック]流れ星を見てみよう！	8月8日	HP、Facebook、X、Instagram、LINE VOOM
[レポート]水素エネルギーを体験してみよう！	8月22日	HP、Facebook、X、Instagram、LINE VOOM
[レポート]フィールドワーク 空飛ぶケモノ「コウモリ」を観察しよう	9月28日	HP、Facebook、X、Instagram、LINE VOOM
[レポート]「プラネタリウム100周年」×「すばる望遠鏡25周年」記念 全国一斉オンライン講演会	10月30日	HP、Facebook、X、Instagram、LINE VOOM
[レポート]フィールドワーク「サイエンススポット まち歩きワンアップ～動物情報館編～」	11月7日	HP、Facebook、X、Instagram、LINE VOOM
[レポート]ポスター展示「サイエンススポット まち歩きワンアップ～動物情報館編～」	11月7日	HP、Facebook、X、Instagram、LINE VOOM
[レポート]サイエンスカフェ「迷子のセマルハコガメ～天然記念物なのに外来種なの？～」	12月2日	HP、YouTube
[レポート]だいたいおっけー展	2月13日	HP、Facebook、X、Instagram、LINE VOOM
[天文トピック]土星の環が消える？！（2025年）	3月22日	HP、Facebook、X、Instagram、LINE VOOM

(6) 育ち支援、ネットワーク形成事業

①科学館運営へのこどもの参画

【キッズクルー活動】

実施日	回数	参加者数	実施日	回数	参加者数
4月11日、25日	2	11	10月10日、24日	2	11
5月9日、23日	2	12	11月14日、28日	2	12
6月13日、27日	2	12	12月12日、26日	2	12
7月11日、25日	2	12	1月9日、23日	2	10
8月8日、22日	2	11	2月13日、27日	2	12
9月1日※1、12日、26日	3	17	3月13日、27日	2	12
計				25	144

※1 9月1日はクリエイティブアワード2024実施日

キッズクルー実施内容

2024年度の活動の中で最も注目すべき点は、2期生の加入により先輩と後輩の関わりが生まれたことだった。特に1期生にとっては思い描いていた先輩・後輩像とのギャップに戸惑い、後輩とどう接するか、悩み大きく成長した1年となった。新メンバーの2期生も、早く先輩たちの様になりたいと励む1年になった。

・クリエイティブアワード2024 小学生の部審査員

1期生3名はこれまでの活動で審査員を経験済みだが、2期生にとっては初めての審査員だった。審査員になるために外部講師に「審査とは何か」を学び、身近なものを審査するなどして審査員としての心得を拾得した。子どもたちは、発表者の立場になって質問をする大切さを体験的に学ぶことが出来た。

・サイエンスショーの実演

1期生と2期生のグループに分かれサイエンスショーの実演を行った。1期生はサイエンスコミュニケーターなしで、自分たちだけで全ての実験と説明を観客に伝えるショーを行うことが出来た。2期生はサイエンスコミュニケーターの補助としてショーを実施した。初めての実施ということもあり、練習通りにはいかない場面もあったが、「次は先輩みたいにもっとうまくやりたい！」と挑戦心や向上心など多くの成長が見られた。



【こども会議】

(1) 中学生 企画会議

福岡市城西中学校の生徒会「チーム城西」12名が、サイエンスカフェの企画と広報のアイデア出しを行い、「肌トラブル解決法～私の肌はなぜ荒れる？～」として実施した。

(2) 小学生会議

2026年度に実施する大規模展示更新の調査の一環で、小学生16名による展示評価会を実施した。

②運営サポーター活動

登録者総数 69 人(2025 年 3 月現在)

【サポーター募集】

内容	実施日	回数	参加者数
サポーター募集説明会	9月29日、10月3日、17日	3	23
新運営サポーター研修	11月9日、10日、28日、12月4日、7日、18日、21日、1月11日、15日、18日、29日、2月1日、13日、15日、26日、3月1日、5日、15日、19日	19	178
計		22	201

【サポーター研修】

内容	実施日	回数	参加者数
著作権講座研修	4月21日	1	27
AIの発展や普及でどう変わる？ これからの情報リテラシーを考えよう！研修	11月23日	1	13
計		2	40

【サポーター活動】

内容	実施日	回数	参加者数
サポーター総会	4月21日、3月8日	2	49
おはなし会活動	5月18日、7月13日、9月21日、11月30日、1月18日、3月23日	6	22
おはなし会 練習	4月20日、6月15日、8月17日、10月19日、12月21日、2月15日	6	24
つくるとらボ	5月29日、6月24日、8月31日	3	11
一日学習 補助活動	5月8日、9日、13日、17日、22日、27日、29日、30日、6月3日、5日、13日、14日、19日、20日、21日、24日、26日、27日、7月1日、4日、5日、10日、11日、17日、9月2日、4日、5日、6日、9日、11日、12日、13日、18日、19日、20日、25日、26日、27日、30日、10月2日、3日、4日、7日、9日、11日、16日、17日、21日、23日、25日、28日、30日、31日、11月8日、11日、13日、15日、18日、20日、21日、22日、27日、28日、12月2日、4日、5日、9日、11日、13日、16日、18日、19日、20日、1月9日、10日、15日、16日、17日、20日、22日、23日、24日、27日、29日、30日、31日、2月3日、5日、6日、7日、10日、13日、21日、26日、27日、28日、3月3日、7日	98	166
基本展示室展示アイテムサポート活動	4月1日、6日、7日、8日、10日、12日、13日、19日、21日、22日、24日、26日、27日、29日、5月1日、5日、11日、12日、13日、16日、18日、20日、24日、25日、26日、27日、29日、6月1日、3日、8日、10日、12日、15日、16日、17日、20日、21日、22日、24日、29日、7月1日、3日、4日、6日、8日、11日、14日、15日、17日、18日、25日、26日、27日、28日、31日、8月5日、6日、9日、10日、12日、15日、16日、17日、19日、20日、22日、25日、31日、9月1日、2日、	168	269

	4日、5日、7日、9日、11日、13日、14日、15日、16日、18日、19日、20日、21日、23日、25日、28日、10月3日、5日、7日、9日、12日、14日、18日、19日、20日、21日、23日、26日、27日、11月2日、3日、4日、10日、11日、13日、15日、16日、17日、20日、23日、24日、27日、28日、30日、12月2日、4日、5日、6日、8日、11日、12日、14日、16日、20日、22日、23日、1月3日、4日、6日、8日、9日、13日、15日、17日、18日、20日、23日、24日、25日、26日、27日、2月1日、3日、7日、10日、13日、14日、15日、16日、17日、21日、22日、24日、27日、3月1日、3日、8日、10日、13日、15日、16日、19日、21日、22日、24日、26日、29日、31日		
フィールドワーク	5月18日、8月8日、9月23日、11月7日、2月11日	5	13
「科学おもちゃであそぼう」活動体験勉強会	4月20日、5月26日、6月1日、7月7日、9月1日、10月12日、11月10日、1月19日、2月11日	9	52
「科学おもちゃであそぼう」活動	4月7日、5月4日、6月2日、7月27日、8月9日、9月16日、10月12日、11月10日、12月21日、1月26日、2月16日、3月9日	12	103
サイエンスナビ内サポート活動	4月1日、7日、13日、27日、28日、29日、5月3日、5日、18日、6月22日、23日、7月7日、13日、15日、31日、8月1日、2日、3日、4日、11日、17日、25日、9月15日、22日、23日、10月5日、14日、11月4日、24日、12月14日、15日、1月13日、19日、2月16日、23日、3月20日、29日	37	37
「すごすぎる天気の写真展」関連プロジェクト会議	5月19日、6月15日、7月13日、17日、8月3日、17日、18日	7	36
「すごすぎる天気の写真展」関連イベント	8月18日	1	10
活動別 座談会	6月8日、9月7日、21日、10月27日、12月4日、12月14日、1月19日、2月16日、17日	9	52
紙芝居「ポテトチップスができるまで」練習会	7月13日、28日、9月1日	3	16
紙芝居「ポテトチップスができるまで」活動	9月16日	1	8
サイエンスカフェ	9月16日、11月16日、2月11日	3	5
「絵本と遊ぼう はじめての？」展 説明会	12月8日	1	6

「絵本と遊ぼう はじめての？」展 関連イベント 桜の花びらカット作業	3月9日、16日、17日	3	6
福岡城 秋の舞鶴公園であそぼう「スーパー紙飛行機をつくろう」練習会・活動	10月17日、19日、11月3日	3	12
サポーターズプログラム「たいけんフェス」打ち合わせ	11月23日、1月19日、2月1日、3日、10日、3月8日、22日	7	34
サポーターズプログラム「たいけんフェス」活動	3月23日	1	19
計		385	950

③サイエンスキャスト活動

【サイエンスキャスト研修】 テーブルサイエンス研修

実施日	参加者数	実施日	参加者数
4月6日	6	11月9日	3
5月11日	5	12月7日	5
6月2日	6	1月18日	6
8月3日	12	2月1日	6
9月7日	7	3月1日	6
10月5日	5		
計			67

【テーブルサイエンス実施】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実施回数	261	260	243	275	280	255	258	259	239	256	225	271	3,082



④連携事業

(a) 他団体との連携

内容	実施日	参加者数	主催・共催等(敬称略)
4人のストリートピアニストによる特別ピアノコンサート	4月1日	190	福岡市科学館
福岡市科学館 利用者500万人突破記念セレモニー	4月13日	180	福岡市科学館
空の文化講演会	4月25日、5月30日、6月27日、9月26日、10月31日、12月26日、1月30日、2月27日、3月27日	131	久留米工業大学
「博多どんたく港まつり」アマチュア無線局 8J6DON	5月3日～5日	21	一般社団法人 日本アマチュア無線連盟 福岡県支部
ミュージアムウィーク2024	5月18日～26日	-	福岡ミュージアム連絡会議
日本MIT会 STEAMワークショップ	6月23日	210	日本MIT会
福岡県高等学校理科部会第1回実習助手研修会	6月24日	31	福岡県高等学校理科部会
ひらめき☆ときめきサイエンス	6月29日	24	九州産業大学
お醤油やさんの科学教室「みそづくり体験」	7月6日	57	宮島醤油株式会社
西新病院セミナー	7月10日、11月13日	357	福岡大学
キラキラ虹の分光筒づくり	7月22日、23日、24日、8月17日、20日	79	福岡市科学館
お天気実験教室 天気の不しぎを体験しよう	7月28日	44	特定非営利活動法人 気象キャスターネットワーク
福岡県女性人材育成のための福岡キャリアカフェ夏の交流会	8月10日	154	福岡女子大学
科学わくわく電気教室	8月16日	15	一般社会法人 日本電気協会九州支部
ペットボトルで雲をつくろう	8月18日、21日	60	福岡市科学館
空クイズに挑戦	8月19日、22日	37	福岡市科学館
総合電機メーカー社員による科学教室	8月23日	62	三菱電機株式会社 九州支社
城西中学校 地域改善プロジェクト	9月12日	33	城西中学校
博多職人展	9月28日、29日	708	福岡市技能職団体連合会・福岡市経済観光文化局
The Creators 2024	10月4日(内覧)、5日、6日	3,270	クリエイティブ・ラボ・フクオカ

六本松 蔦屋書店トークイベント デザインと惑星	10月5日	2	六本松 蔦屋書店
対談 細矢剛博士×矢原徹一 館長「毒をもつ生物の戦略」	10月12日	148	福岡市科学館
ふしぎ発見！物理ゲーム	10月12日、13日	42	サイエンス福岡クラブ
第19回科学わくわくコンテスト 第67回福岡県児童生徒発明く ふう展	10月19日、20日	579	一般社団法人福岡健発明 協会
「量子はめぐる－量子科学技術 で創造する未来－」パブリックビ ューイング	10月20日	12	大学共同利用機関法人 自然科学研究機構
丸山宗利博士「昆虫採集と危険 な生き物」	11月2日	230	福岡市科学館
薬草風呂の素をつくろう	11月4日	64	福岡市科学館
体験型イベント「親子で楽しむイ ンフラサウンド：見よう・作ろう・ 考えよう」	11月24日	299	国立大学法人九州大学
小さな植物と生きものの関係を のぞこう！	1月11日	8	株式会社トータルメディア 開発研究所
だいたいおっけー展	1月12日、13日	1,618	福岡市認知症フレンドリー センター
遊びながら学ぶ！元素カルタワ ークショップ	2月1日	117	株式会社polarewon
テクノアートプロジェクト	2月17日、19日～24日	2,161	九州産業大学 芸術学部 +理工学部
学ぼう宇宙探査 月面ライフをシ ミュレーション	2月23日	58	国立研究開発法人 宇宙 航空研究開発機構
ママドラフト会議in福岡	2月26日	50	NPO法人ママワーク研究 所
日本科学未来館 遠隔デジタル 体験「MIRAI-Bit(ミライビット)」展 示	3月22日～3月31日	4,510	福岡市科学館(協力：日本 科学未来館)
計		15,561	

※参加者数の「－」は集計不可能なイベントを示す。

(b) 科学館間の連携

内容	実施日	参加者数	協力館等(敬称略)
日本プラネタリウム協議会(JPA) 2023年度 第1回 理事会	5月15日	11	オンライン
第33回全国科学館連携協議会 総会	6月26日	50	日本科学未来館
第32回 指定都市科学館連絡会議	12月26日	22	北九州市科学館(スペース ラボ)
令和6年度第2回全国科学博物館 協議会総会兼研究発表大会	2月12日、13日、14 日	394	兵庫県立人と自然の博物 館
計		477	

(7) 調査研究事業

①九州大学との共同研究

1. サイエンス&クリエイティブによる新たな科学館活動の基礎理論と具体的プログラムの開発研究
2. 新しい時代の博士を育成するための教育プログラム立案に関する研究

(a) ジュニア科学者養成講座～ニュートンコース企画会議

内容	実施日	参加者
入学式探Qゼミについて	4月 11日 4月 16日	平井康之氏・矢原館長・館スタッフ
光化学の回について	4月 18日 4月 26日	宮田潔志氏・平井康之氏・矢原館長・科学館スタッフ
化学の回について	5月 8日 5月 20日	岸村顕広氏・平井康之氏・矢原館長・科学館スタッフ
光化学探Qゼミについて	5月 11日	平井康之氏・矢原館長・科学館スタッフ
放射線の回について	6月 10日	吉岡瑞樹氏・科学館スタッフ
化学探Qゼミについて	6月 12日	平井康之氏・芸工学生・科学館スタッフ
放射線探Qゼミについて	7月 5日	平井康之氏・芸工学生・科学館スタッフ
電磁石の回探Qゼミについて	9月 4日	平井康之氏・芸工学生・科学館スタッフ
まとめの回について	9月 19日	平井康之氏・芸工学生・科学館スタッフ
ブックレット(報告書)作成について	9月 22日	平井康之氏・小林大介氏・科学館スタッフ
料理の化学の回について	10月21日	平井康之氏・科学館スタッフ
料理の化学探Qゼミについて	11月 6日	平井康之氏・科学館スタッフ
アリの回について	11月 7日	村上貴弘氏・科学館スタッフ
微生物燃料電池の回について	11月 21日	濱村奈津子氏・野中里佐氏・矢原館長・科学館スタッフ
アリの回ミッションについて	11月 21日	平井康之氏・科学館スタッフ
アリの回探Qゼミについて	12月 5日	平井康之氏・科学館スタッフ
微生物燃料電池の回ミッションについて	12月 19日	平井康之氏・科学館スタッフ
微生物燃料電池の回探Qゼミについて	1月 9日	平井康之氏・科学館スタッフ
私たちの遺伝子の回ミッションについて	1月 29日	平井康之氏・科学館スタッフ
私たちの遺伝子の回探Qゼミについて	2月 26日	平井康之氏・科学館スタッフ

【内容】

2023年度に引き続き、実験や観察でインプットをおこなう「本講座」と、講座内容を振り返りアウトプットする「探Qゼミ」のセットで行った。「本講座」では、科学史をテーマに、科学者が世界の見えないものをどのように見てきたかを紐解きながら進めた。また、最先端の研究を、実験を通して体験した。

講座実施の前に、講師(大学教員)、大学院生、科学館スタッフによる企画会議を行い、前回実施プログラム内容を評価し、改善点を抽出、今年度実施のための実施計画書を作成した。

初級編では、「見えないものを見る」をテーマに、全9回の講座を行い、中級編では、初級で知り得た物理学・化学・の見方で生命を理解することを目標に全9回の講座を行なった。

本講座では研究者の入り口を体験しながら、今後研究者になるために必要なコミュニケーション・チームワークを学んだ。探Qゼミでは本講座での振り返り、アウトプットするため「表現」の時間を設けた。

表現では大学教員、大学院生、科学館スタッフと共に参加者が疑問に思ったことや講座で体験したことを用意された画材だけを使って伝える力、表現する力、想像する力、考えを進める力を養った。

【講師(敬称略)】

矢原 徹一	福岡市科学館・館長 九州大学 大学院 理学研究院・名誉教授 一般社団法人九州オープンユニバーシティ・理事兼研究部長
平井 康之	九州大学 大学院 芸術工学研究院・ストラテジックデザイン部門 教授
宮田 潔志	九州大学 大学院 理学研究院 化学部門 准教授
岸村 顕広	九州大学 大学院 工学研究院 応用化学部門 准教授
吉岡 瑞樹	九州大学 大学院 先端素粒子物理研究センター 准教授
村上 貴弘	岡山理科大学 理学部 動物学科 教授
濱村 奈津子	九州大学 大学院 理学研究院 生物化学部門 教授
野中 里佐	尚絅大学 生活科学部 栄養化学科 准教授

【成果物】

ニュートンコース初級編：入学式

本講座 体験

実施したこと

入学式では、3つの実験で「見えないエネルギー」を観察しました。スターリングエンジンでは、手回しによってピストンが動かないチームがありました。仲間と原因を考えましたがその場で結論は出ませんでした。うまくいかない実験で「なぜかな」「どうすれば動くかな」と考えたり、試したり、そこから新しい研究の芽が出ることもあります。

実験①：スターリングエンジン

何種類のエネルギーがあるかな？

エネルギーを動かして見てみよう

実験②：熱による気体の膨らみ

熱で気体が膨らむことを確かめよう

実験③：音を影に写す

音の「影」を見てみよう

本講座でわかったこと

スターリングエンジンでは、
さまざまなエネルギーが
密かに動いている

気体は暖めると
ふくらみ、
冷めると小さく

音は波で
振ることが
できる

Newton Course 2020

09

ニュートンコース初級編・第3回 放物線の国

探Qゼミ 共創

「見えない粒」を表現しよう

講座では講座をつくって、原子・分子よりさらに小さな粒子である放物線の飛路を観察してみたいね。観察用の図像やゼミでは「見えない粒」を、夜光あいるごる火花で表現します。放物線の科学者、火花職人、CGクリエイターになったつもりで、芋んだ知識とゆやかな想像力で素粒子の世界をデザインしましょう。

火花の中身を覗える

チームの話し合いでは、顔の輪、丸、点、線、面、体、角の形、色、匂い、味、触りなどを考え、ユニークな火花の中身のアイデアが次々と飛び出し続けた。

みんなで作くる

自分たちが思い描く粒の世界をイメージし、絵画が、カラーペンと工芸材料を使って完成した作品が作り出されたりしながら、想像をどんどん広げてきていましたよ。

34

National Center E255a

(b) ジュニア科学者養成講座 ダーウィン・ニュートンゼミ

日程	内容	実施日	時間
第1回	柳の木の接ぎ木	4月28日	13:30～15:30
第2回	土の透水性と保水力の測定・pHと電導度の測定	5月26日	13:30～15:30
第3回	身近な研究テーマ 4つのテーマを考える	6月9日	13:30～15:30
第4回	身近な研究テーマ 植物とハナバチの関係	7月7日	13:30～15:30
第5回	光化学 4つの実験	9月16日	13:30～15:30
第6回	ツリフネソウとトルコ桔梗の観察	10月20日	13:30～15:30
第7回	つる植物の茎の断面の観察1	11月17日	13:30～15:30
第8回	つる植物の茎の断面の観察2	12月15日	13:30～15:30
第9回	大濠公園タンポポ調査	1月19日	13:30～15:30
第10回	統計的な分析法の解説	2月11日	13:30～15:30
第11回	ネコノメソウの花の観察	3月10日	13:30～15:30

【内容】

ジュニア科学者養成講座のダーウィンコースまたはニュートンコースの中級を修了し、さらに探求を深めることを希望するメンバーを対象に、中学・高校を通じて探求心を育て、研究に取り組む場の提供を行った。受講生が自分で調べたことや経験などを同じ受講生に発表する時間と、専門分野の研究を館長や大学教員と一緒に体験した。

【講師（敬称略）】

矢原 徹一	福岡市科学館 館長 一般社団法人 九州オープンユニバーシティ 理事
-------	--------------------------------------

【成果物】



②未来研究室

(a) スタンフォード大学 西村俊彦顧問との連携による、科学館事業の魅力創出と新規事業の模索。

実施日	回数	実施日	回数
4月8日、22日、29日	3	10月21日、28日	2
5月6日、13日、20日、27日	4	11月11日、18日、25日	3
6月3日、10日、17日	3	12月9日、16日、23日	3
7月1日、8日、15日、22日	4	1月6日、20日、27日	3
8月5日、12日、26日	3	2月3日、17日、24日	3
9月2日、9日、16日、23日、30日	5	3月3日、17日、31日	3
計			36

前期は主にSDGs家族会議の改善を協議した。前回より体験型で低年齢層も参加しやすく、低学年児童も含めた家族全員の意見を提案に反映できるワークショップ型を目指す手法を導入したが、実施回によっては低学年児童には難しい講義があり、今年度はより低年齢層を意識した講座のデザインを課題として議論した。後期は、科学館事業の拡張のためのしくみとして、必要な人材をフレキシブルに活用できるしくみなどが協議された。

③SDGs家族会議

家族がいっしょになって持続可能な社会の実現について何ができるのかを考え、アイデアを発表するワークショップ。第4回目となる2024年度は下記の通り実施した。

日程	内容	実施日	時間
第1回	「カードゲームで17の目標を知る」 17の目標と生活との接点や、各目標が相互に関連していることを理解するワークショップ。 独自開発したオリジナルカードゲームを使用。	9月15日	10:00～12:00
第2回	「海洋ごみで作品を作ろう」 講話＋アートワークショップ 講師：しばたみなみ氏（アーティスト）	9月29日	10:00～12:40
第3回	「森で生きものにふれよう」 講話＋九大の森フィールドワーク 講師：矢原徹一館長	10月14日	10:00～13:30
第4回	「チョコレートから考えよう」 講話＋ワークショップ 講師：竹内太郎氏（九州オープンユニバーシティ 学術研究員） ワークショップでは、独自開発した「アンフェア レードカードゲーム」を使用。	10月27日	10:00～12:40
第5回	「未来へ向けて今できることを考える」 話し合い＋作業 ファシリテーター：坂口麻衣子氏	11月24日	10:00～12:40
第6回	「未来へ向けて今できることを表現する」 話し合い＋作業 ファシリテーター：坂口麻衣子氏	12月1日	10:00～12:40
第7回	「最終発表会」 発表会：全講師	12月22日	10:00～12:40

【内容】

参加家族全員が、SDGsを考え、意識変革し、行動変容することを目的とし、以下の3つの目標を設定。

- (1) SDGsの17の目標が相互に関連していることを理解する。
- (2) 参加者（特に子供）が、他者の考えを理解し、自分の考えを他者に伝え、議論を繰り返すことを通じて自分の考えを広げていくチカラを身につける。
- (3) 参加者（保護者とスタッフ）が、子供の「自発的に考える力」を伸ばすコミュニケーションスキルを身につける。

参加者（特に子供）が、他者の考えを理解し、自分の考えを他者に伝え、議論を繰り返すことを通じて自分の考えを広げていくチカラを身につけ、参加者同士がお互いの考え方を知り合い、認め合えるよう配慮した。また、参加者（保護者とスタッフ）が、子供の「自発的に考える力」を伸ばすコミュニケーションスキルを身につけ、スタッフや参加家族全員のコミュニケーションが向上するしくみづくりを行った。

(8) 施設貸出事業

①諸室貸出利用件数

(単位:件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サイエンスホール	12	15	30	18	15	21	12	10	15	13	18	29	208
ドームシアター	0	2	2	0	0	2	0	2	0	0	2	0	10
企画展示室	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	12	17	33	18	15	23	12	12	15	13	20	29	219

参考:サイエンスホール貸出稼働日数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サイエンスホール	12	13	20	15	12	19	11	8	14	10	18	22	174

※サイエンスホールについては、1日に複数件貸し出しを行う場合があるため、利用件数と稼働日数が異なる場合がある。

②企画展示室の貸室

■日本MIT会 STEAMワークショップ

- ・期間 6月23日
- ・主催 日本MIT会

■でんちフェスタ in福岡

- ・期間 8月30日、31日 (台風により開催中止)

(9) スーパーサイエンスジュニア事業

スーパーサイエンスジュニアプロジェクト「ふくおかSSJ・こども科学研究所」第1期

期間：前期2024年4月～8月、後期2024年10月～2025年2月

参加者：前期16名 後期13名

第1期前期	
実施日	内容
4月13日	ロボットの組み立て。1からロボットを組み立てよう！
4月27日	プログラミングソフトに慣れる。PC操作の練習。
5月11日	いろいろなセンサーを試してみよう。
5月25日	センサー2個のプログラム
6月8日	ライントレースロボットを作ってみよう！
6月22日	外部センサーの使いかた
7月6日	サーボモーターでものを持ち上げよう！
7月20日	センサーを増やしてみよう。3つ以上のセンサーを使うには？
8月3日	総復習
8月17日	ミニコンテスト
第1期後期	
10月12日	ロボットの組み立て。1からロボットを組み立てよう！
10月19日	プログラミングソフトに慣れる。PC操作の練習。
11月2日	センサーを使ったプログラムを作ってみよう
11月9日	センサー2個のプログラム
11月23日	いろいろな課題に取り組もう
12月14日	ブザーを使ってモールス信号
1月4日	さらにセンサーを増やしてみよう。3つ以上のセンサーを使うには？
1月18日	ロボットサッカー
2月1日	総復習
2月15日	ミニコンテスト

スーパーサイエンスジュニアプロジェクト「ふくおかSSJ・こども科学研究所」第2期

期間：前期2024年4月～8月、後期2024年10月～2025年2月

参加者：前期7名 後期4名

第2期前期	
実施日	内容
4月7日	1期の総復習、サブプログラム
4月21日	数を数えるにはどうするか？
5月6日	回数に応じて処理をかえる
5月19日	ループの条件づけ Break文、For文
6月2日	サーボモーターを使ってみる
6月16日	変数と条件付きループの組み合わせ
6月30日	変数と基本ブロックの組み合わせ
7月14日	変数を使った計算問題
7月28日	コンテスト課題の練習
8月11日	ミニコンテスト
第2期後期	

10月12日	サブプログラムと ElseIf
10月19日	変数を使って数を数えてみよう
11月2日	回数ごとに違う動作をしてみよう
11月9日	変数を使った計算
11月23日	変数を使った条件付け
12月14日	繰り返し処理に条件を付けよう
1月4日	サーボモーターで持ち上げ機構①
1月18日	サーボモーターで持ち上げ機構②
2月1日	コンテスト課題に挑戦
2月15日	2期の総復習

スーパーサイエンスジュニアプロジェクト「ふくおかSSJ・こども科学研究所」第3期

期間:前期2024年4月～8月、後期2024年10月～2025年2月

参加者:前期3名 後期4名

第3期前期	
実施日	内容
4月13日	2期までの総復習
4月27日	基本の関数とコード編集の方法
5月11日	センサー1個と2個のプログラムをコードを使って書いてみる
5月25日	ElseIf と Swich 構文
6月8日	変数を自分で宣言して使う。For 文との組み合わせ
6月22日	変数を使った計算～応用編～
7月6日	超音波センサーを使った障害物よけ
7月20日	論理演算子を使ってみよう～より複雑な条件付け～
8月3日	ロボサッカー～上級編～
8月17日	3期の総復習
第3期後期	
10月13日	基本の関数とコード編集の方法
10月27日	Visual StudioCode を使ってみよう～コード編集を簡単に～
11月3日	コードで条件分岐
11月17日	コードで For 文/while 文
12月1日	変数を自分で宣言する/コードでサブプログラム
12月15日	超音波センサーを使ってみよう
1月5日	論理演算子を使ってみよう
1月19日	ロボットでデータを集めてみよう
2月2日	コンテスト課題の練習
2月16日	ミニコンテスト

(10) その他の実績

①活動の実績

国際プラネタリウム協会2026年大会(IPS2026)の開催の準備。

国内組織委員会を立ち上げに伴い、ホスト館として準備活動を推進した。2024年7月、近代プラネタリウム発祥の地・ドイツで開催されたIPS2024大会に参加。次回開催地としてPR活動を実施。公式HPへのリンクを行い、広報活動に協力。

②職員の実績

(a) 受賞歴

■第18回キッズデザイン賞 子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門 キッズデザイン賞
親子で体験するサイエンス&クリエイティブ展示「SCシアター」

■2024年度JASC日本サイエンスコミュニケーション協会(JASC)第13回年会
(ベストプレゼン賞 1位):西澤 息吹『社会課題解決に取り組む連続講座「SDGs家族会議」と
科学コミュニケーションの役割』

(b) 外部発表(執筆等)

■金属

2024年10月号

執筆

『子ども社会参画活動「キッズクルー」におけるサイエンスコミュニケーターの役割』

執筆者:林千恵

■日本土壤肥料学会誌

会誌96巻1号から3号

執筆

『【公開シンポジウム】社会とつながり、社会と変わる土壤肥料×サイエンスコミュニケーション「子ども社会参画活動プログラムにおけるサイエンスコミュニケーターの役割と参加者の変化 長期間の活動を通じた課題解決型人材の育成」』

執筆者:林千恵

■日本ミュージアム・マネジメント学会 研究紀要(査読あり)

2025年3月号

執筆

『科学館における「表現」と「デザイン思考」を取り入れた学習プログラム』

執筆者:井上香織

(c) 外部発表(口頭発表)

■日本ミュージアム・マネジメント学会第29回大会

2024年6月22日

『SSH指定校との連携で高校生のサイエンスコミュニケーション力を育てる』

発表者:板垣早織

■日本土壌肥料学会2024年度福岡大会

2024年9月5日

口頭発表 研究発表

『子ども社会参画プログラムにおけるサイエンスコミュニケーターの役割と参加者の変化』

発表者:林千恵

■2024年度JASC日本サイエンスコミュニケーション協会(JASC)第13回年会(2024年12月10日(月))

『社会課題解決に取り組む連続講座「SDGs家族会議」と科学コミュニケーションの役割』

発表者:西澤 息吹

■第32回全国科学博物館協議会研究発表大会(2025年2月14日(金))

『SDGs家族会議:小学生を含む家族が共に楽しく学び、対話し、未来を考える対話型プログラムの成果と課題』

発表・資料執筆:西澤息吹・高山裕明・上田恭子

(d) 外部発表(ポスター発表)

なし

(e) 講師依頼

■日本土壌肥料学会2024年度福岡大会

期日:2024年9月5日

場所:福岡国際会議場

講師:矢原徹一館長

内容:基調講演「アウトリーチから共創へ 小学生と一緒につくりあげたダーウィンコースの教訓」

■六本松蔦屋書店トークイベント デザインと惑星

期日:2024年10月5日

場所:六本松蔦屋書店 アートスペース

講師:丹野佳代子(ほか1名:擬態デザイナー/小瀬古智之氏)

内容:惑星の紹介(定義・太陽系の惑星や衛星・太陽系外惑星)

六本松421ビル周辺で採取された”惑星”の環境を推察

■星めぐり列車

期日:2024年11月24日

場所:九州旅客鉄道株式会社(JR)豊肥本線 特急「ふたつ星4047」車内・沿線

講師:丹野佳代子 板垣早織

内容:車内での季節の星空案内、クイズ 屋外(立野駅付近)での天体観望案内

■令和六年度五つ星ガイドの会研修会

期日:2025年1月25日

場所:石油備蓄会館・研修室(長崎県南松浦郡新上五島町)

講師:丹野佳代子

内容:会員向け講座(宇宙の神秘、季節の星空案内、天文トピック)

■九州大学女子卒業生の会「松の実会」総会講演会

期日:2025年2月16日

場所:九州大学西新プラザ大会議室

講師:矢原徹一館長

講演題目:「花の神を探す旅」

(f) 外部監修

■キトラ・プラネタリウム「冬の星座と中国星座」

期日:2024年10月26日～11月4日

場所:キトラ古墳壁画体験館 四神の館〔奈良県高市郡明日香村〕

制作協力:丹野佳代子

内容:秋の星空で見られる西洋と中国の星座についての原稿作成およびナレーション

■『星とチルするプレイリスト』〔プラネタリウム作品〕

上映開始:2024年12月

上映施設:プラネタリアYOKOHAMA(横浜)、プラネタリウム満天(池袋)、プラネタリウム満天(名古屋)

制作協力:丹野佳代子

内容:天文解説原稿作成

(g) 委員委嘱

■日本プラネタリウム協議会(JPA)

理事:丹野佳代子 (ほか6名)

任期:第1期:2022年7月～2024年6月(2年間)

第2期:2024年7月～2026年6月(2年間)

内容:日本プラネタリウム協議会(JPA)の運営に関わる業務

福岡市科学館 年報 2024年度(令和六年度)版

2025年 9月 初版発行

2025年 11月 第二版発行

編集・発行

福岡市科学館

〒810-0044 福岡県福岡市中央区六本松4丁目2番1号

TEL 092-731-2525

FAX 092-731-2530